



FILDER Cube から移行されるお客様へ

第2版 2024年12月17日

ご注意

- ・本説明書の著作権はダイキン工業株式会社が保有しています。
- ・本説明書の全部または一部を、ダイキン工業株式会社の書面による許可を得ることなく複写、複製、転用することはできません。
- ・このソフトウェアおよび本説明書は、本製品の使用許諾契約書に基づいて使用することができます。
- ・本説明書の記載内容は予告なく変更することがあります。
- ・本説明書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- ・Luminous Planner は、パナソニック株式会社の登録商標または商標です。
- ・その他、本説明書に記載されている会社名、製品名は、一般に各社の登録商標または商標です。

目次

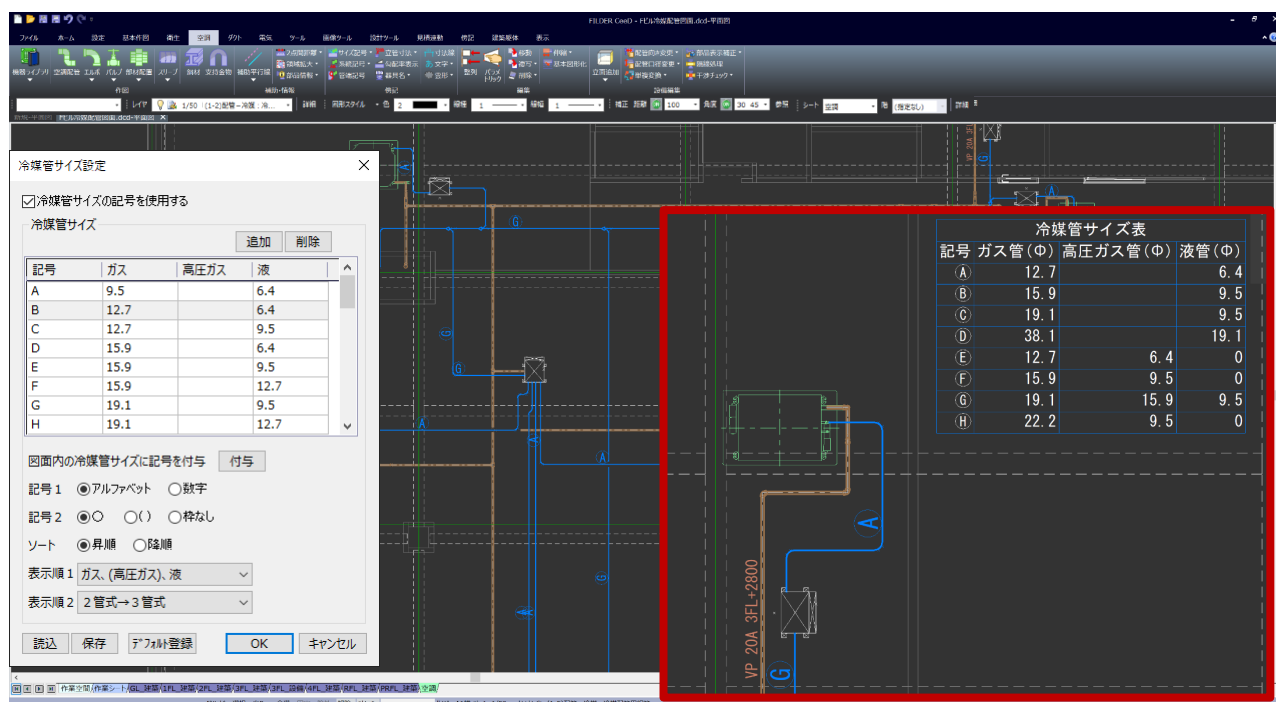
冷媒3管の追加	1
電気シンボルの負荷容量付加・編集	1
回路情報付加・編集	2
盤図作成	2
青焼き補正	3
コントロールポイント移動での配管編集	3
建築躯体が躯体トレースの作図方法になりました	4
トレースした壁への開口部配置	4
ツールバーの追加	5
よく使う図面ファイルを固定する	6
ファイラーの廃止	6
リモートサポートボタン	6
レイヤの非表示・表示コマンド	7
レイヤの表示・編集状態の登録・呼出	8
隠線状態の自動更新機能	10
隠線処理機能の一般図形対応	10
図形の表示順入替	11
最前面へ移動	12
ビューポートのロック	12
ビューポートスケール変更時の文字サイズ指定	13
ビューポート作成時の配置基点指示	14
電気シンボル（蛍光灯型）のサイズ	15
立面追加の表示面選択	16
寸法線自動付加	17
伸縮端点決定方法	17
「印刷色」「線幅」複数一括設定	18
設定ダイアログ内名称表示	19
バルーン、線分の矢印付加・削除	19
印刷時の領域指定	19
立管コマンド	20
バルブソケットの自動付加	20
STEM(ダイキン)ダウンロードボタン	21
勾配解除時の基点表示	21
電気シンボルの高さ基準設定	22
材質付加/材質解除	23
手動包絡	25
DK-BIM 連携	26
ショートカットメニュー設定	28
基本図形の属性コピー	29
クイックアクセスツールバーの設定読み込み	30
JWW に線色を設定して出力	30
JWW 設定	31
マウスの JWW ライク操作設定	32
シート、レイヤの塗りつぶし設定	32
コマンド名変更/コマンド位置変更・追加	33
新規追加になったコマンド	34
なくなったコマンド	35

FILDER CeeD（バージョン 3.1 以降）は Windows11 に対応していますが、本書の画面イメージや操作説明は、Windows10 のものを使用しています。

冷媒3管の追加

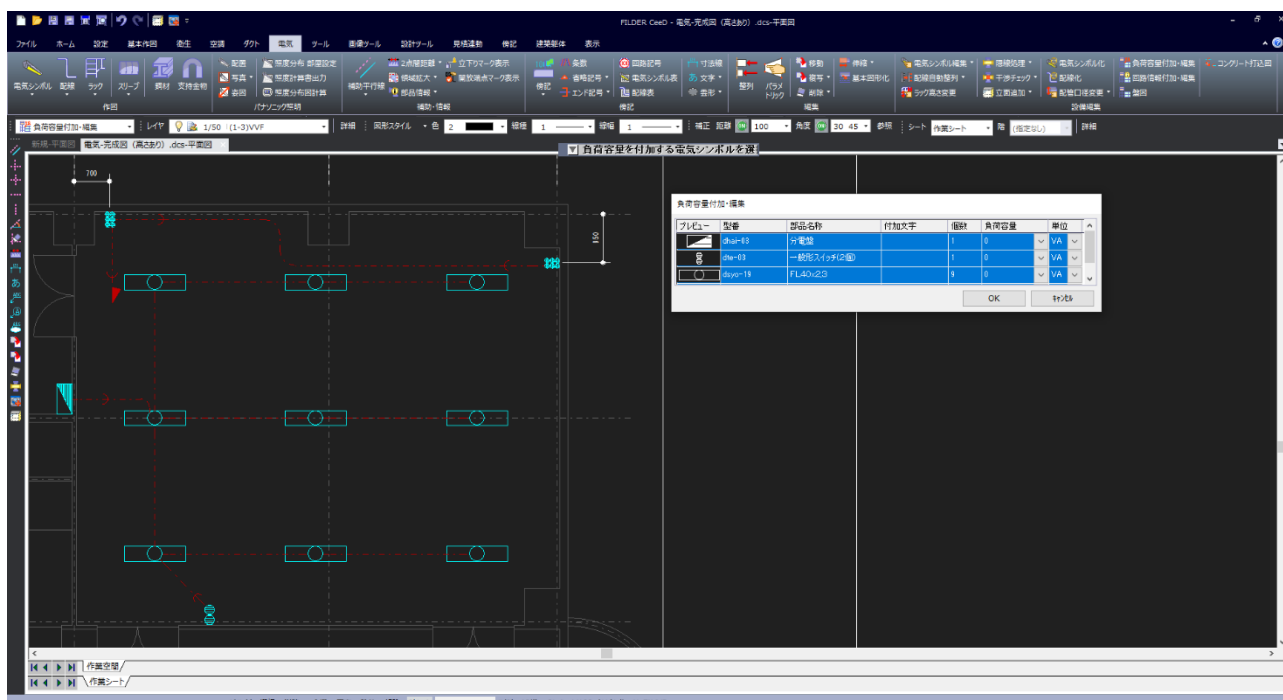
冷暖フリー（1 系統で個々の部屋で冷房と暖房が同時に行える）の施工図を作成できるように、「高圧ガス」を追加し、「液」、「ガス」、「高圧ガス」が作成できるようになりました。

図面上にはサイズを記号表示、冷媒配管サイズ表も自動作成可能となりました。



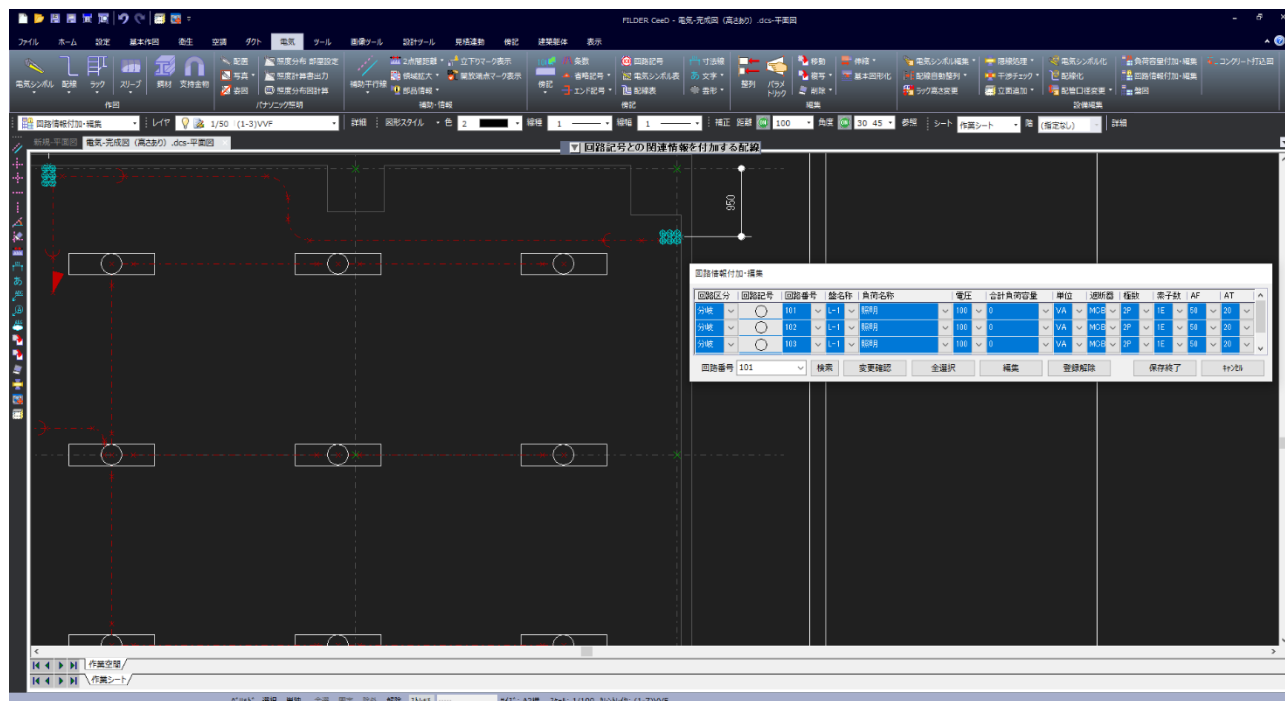
電気シンボルの負荷容量付加・編集

照明器具等、電気を使用するために消費する負荷容量の付加・編集ができるようになりました。



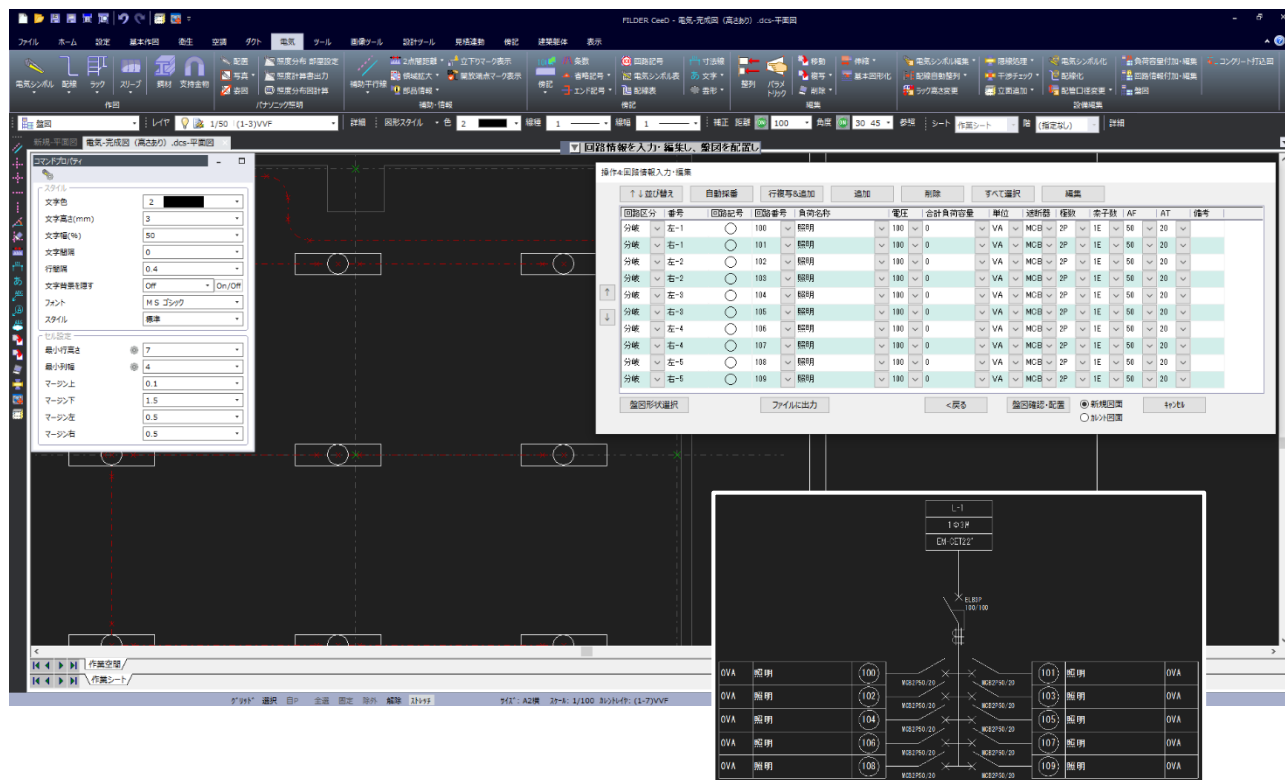
回路情報付加・編集

回路（遮断器の先に繋がっている配線と照明器具、スイッチ、コンセント等を含めた系統）の電圧や照明器具等の合計の負荷容量等の情報、遮断器の情報の付加・編集ができるようになりました。



盤図作成

配置した電気シンボルに情報を付加し、その情報を使って盤図を自動的に作成できるようになりました。

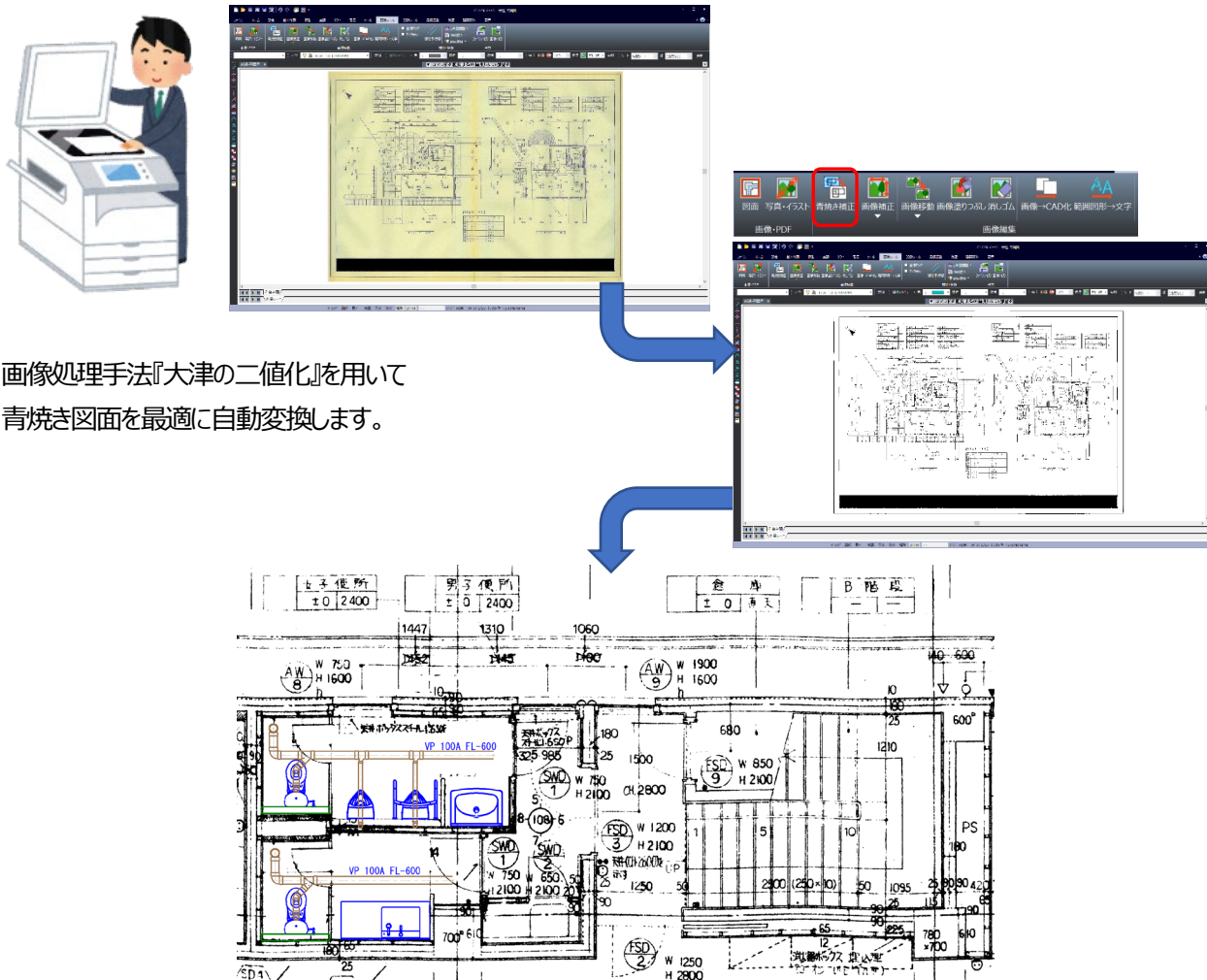


青焼き補正

リニューアル提案時、青焼き図面を元に提案図面作成で提案力アップ。

青焼き図面をコピー機などで画像(もしくは PDF)に変換したファイルを CAD に取り込んだ後、青焼き補正機能にて色補正、ゴミ取りを行えるようになりました。

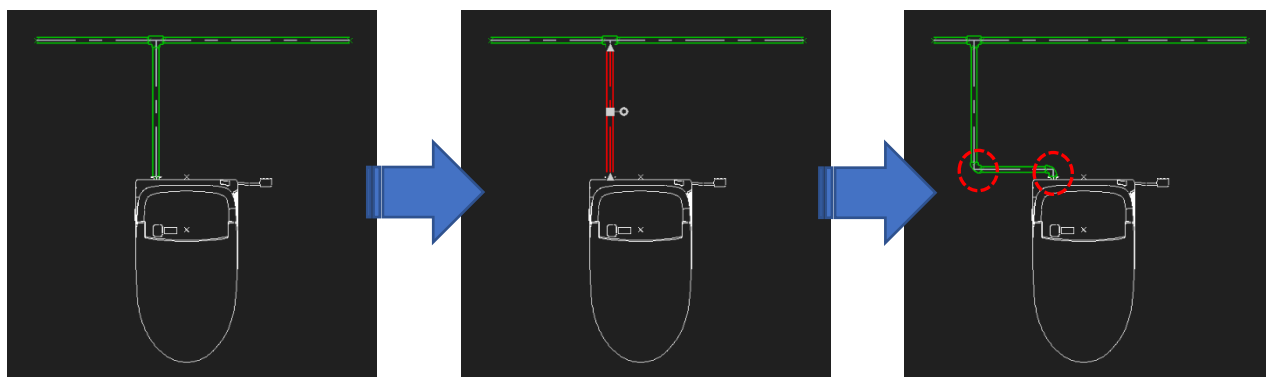
コピー機などで青焼き図面を PDF に変換し、FILDER CeeD へ取り込みます。



画像処理手法「大津の二値化」を用いて
青焼き図面を最適に自動変換します。

コントロールポイント移動での配管編集

機器に繋がったルート上の CP 移動で自動引き回しなどコントロールポイント移動が更に便利になりました。



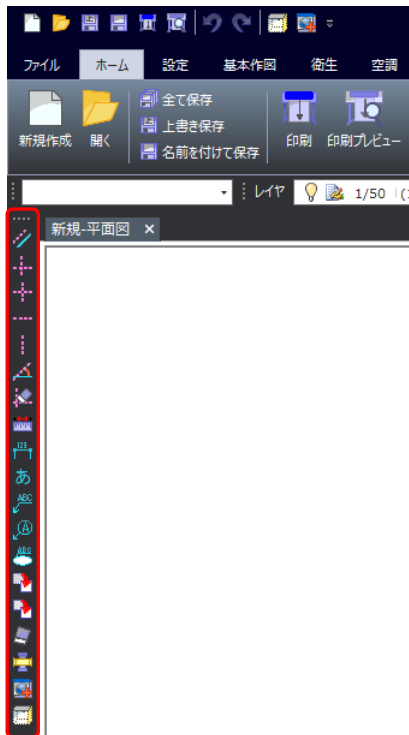
建築躯体（躯体トレース）については「ユーザズガイド」「導入マニュアル」をご参照ください。

[illegible]

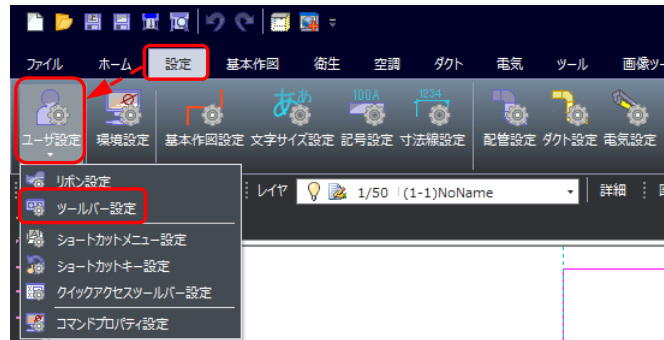
ツールバーの追加

クイックアクセスツールバーとは別に自由に配置できるツールバーを追加しました。

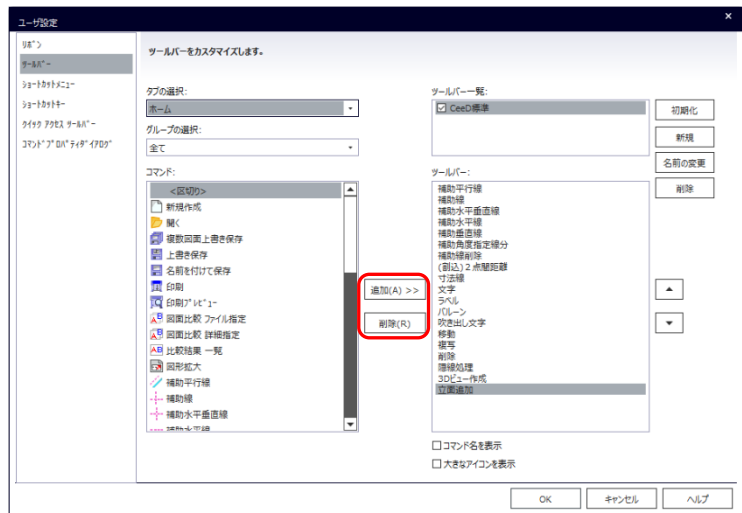
ツールバーは下図のように新しいグループ作ることも可能です。



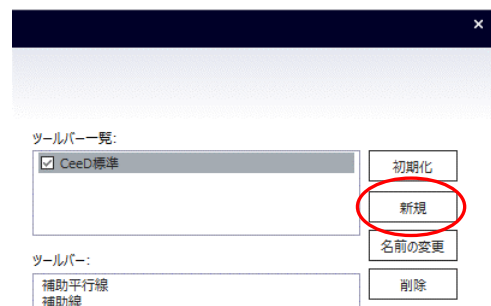
- ① リボンメニューの「設定」タブの「ユーザ設定」から「ツールバー設定」を選択します。



- ② 「ユーザ設定」ダイアログが表示されますので、ツールバー一覧にコマンドを追加・削除することができます。ツールバー一覧に追加をする場合、左側一覧から追加するコマンドを選択し、真ん中にある「追加(A)」ボタンをクリックします。ツールバー一覧からコマンドを削除する場合、ツールバー一覧の削除したいコマンドを選択し、真ん中にある「削除(B)」ボタンをクリックします。

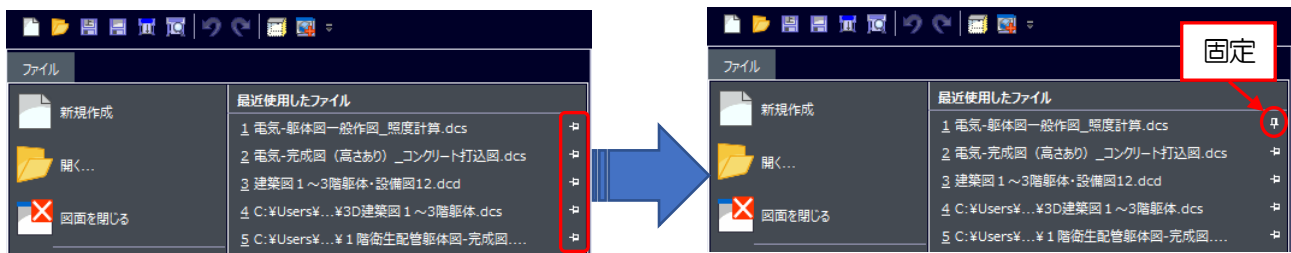


- ③ また、「新規」ボタンをクリックし、ツールバー一覧を新しく作成することもできます。



よく使う図面ファイルを固定する

「ファイル」メニューの「最近使用したファイル」に、常に表示させたい図面ファイルを固定することができるようになりました。ファイル名称の横の押しピンマークをクリックすると固定されます。

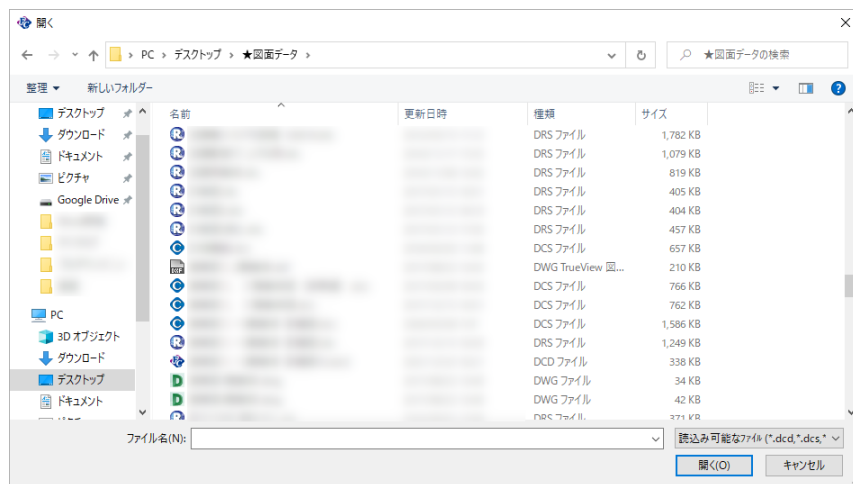


ファイラーの廃止

FILDER Cube では「ファイル」メニューの「開く」で図面を開く際「FILDERFiler」というソフトが起動していましたが、FILDER CeeD では FILDERFiler は廃止されました。

※ FILDERFiler 内の「データ変換」を使って複数図面変換を行っていた場合は、FILDER CeeD では「ファイル」メニューより「複数図面変換」をご利用ください。

※ 「開く」から複数の図面を同時に選択して開くことができません。複数図面を同時に開きたい場合はエクスプローラーよりファイルを選択してドラッグ & ドロップにて開いてください。



リモートサポートボタン

リモートサポートを CAD の画面から起動できるようになりました。

※ リモートサポートは、弊社サポート担当者からご案内した場合のみご利用いただけます。

リボンメニューの「ホーム」タブから「リモートサポート」をクリックすると、ユーザアカウント制御が表示されますので、「はい」ボタンをクリックすると、「緊急サポートツール」が表示されます。

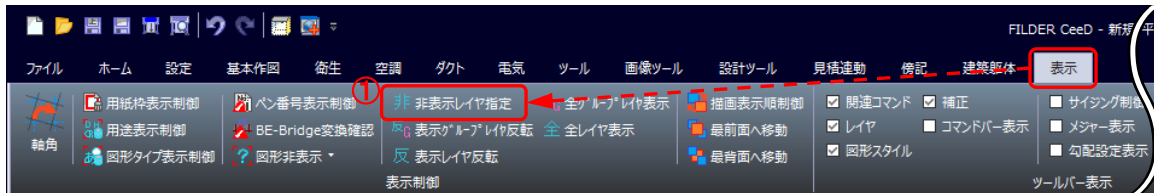
「接続準備完了（安全な接続）」となりましたら、サポート担当者に使用中の ID を伝え、案内に従い操作してください。

※ 「接続準備完了（安全な接続）」となるまでに少々お時間がかかりますので、この状態になるまでしばらくお待ちください。

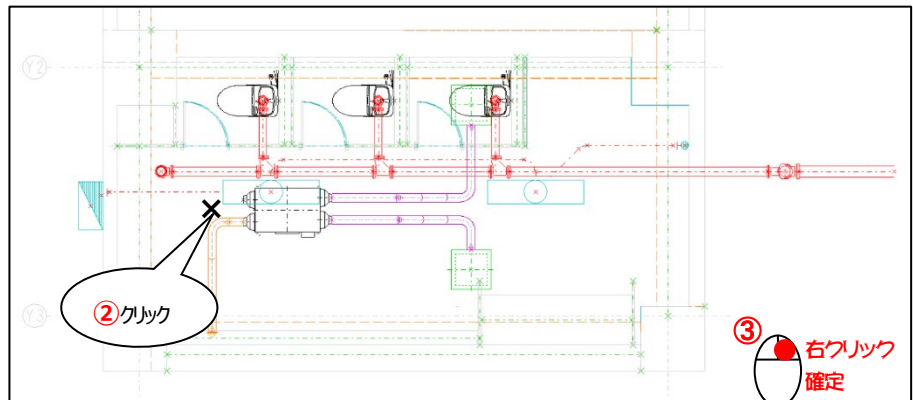
レイヤの非表示・表示コマンド

「非表示レイヤ指定」、「表示グループレイヤ反転」、「表示レイヤ反転」、「全グループレイヤ表示」、「全レイヤ表示」を追加しました。

- ① リボンメニューの「表示」タブから「非表示レイヤ指定」を選択します。

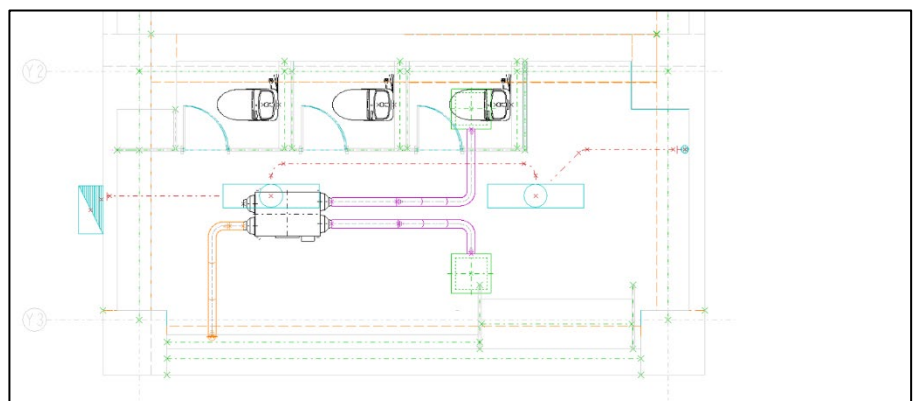


- ② 非表示にする部品を選択するとそのレイヤに入っている部品が全て選択されます。



- ③ 右クリックで確定します。

- ④ 指定した部品のレイヤが非表示になります。



ワンポイント



その他表示状態

「表示グループレイヤ反転」

全グループレイヤの表示状態を反転します。(非表示→表示、表示→非表示)

「表示レイヤ反転」

全レイヤの表示状態を反転します。
(非表示→表示、表示→非表示)

「全グループレイヤ表示」

すべてのグループレイヤを表示状態とします。

「全レイヤ表示」

すべてのレイヤを表示状態とします。

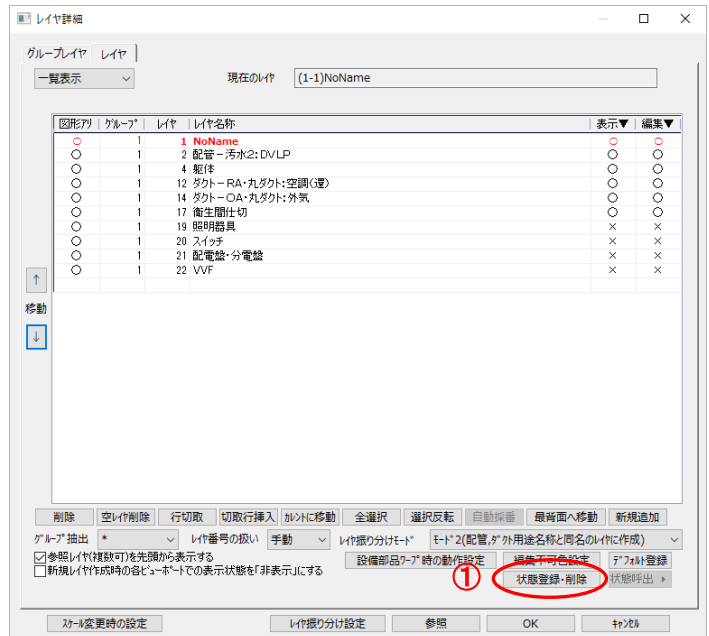
非 非表示レイヤ指定 全G 全グループレイヤ表示
反G 表示グループレイヤ反転 全 全レイヤ表示
反 表示レイヤ反転

レイヤの表示・編集状態の登録・呼出

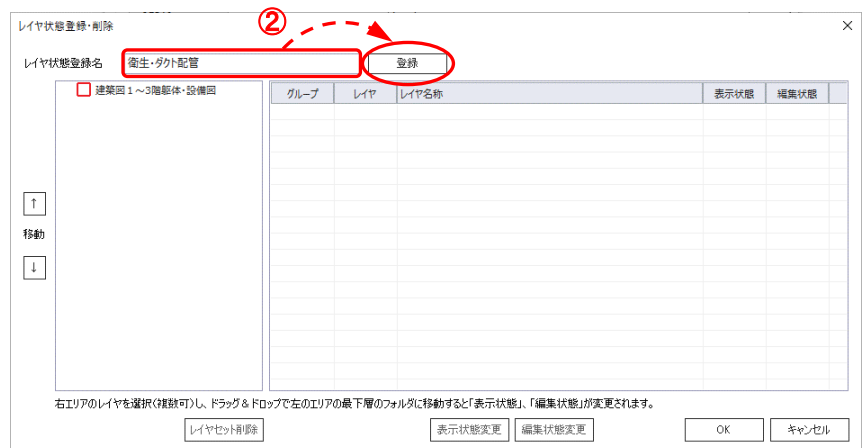
レイヤの表示・編集状態の登録・呼出ができるようになりました。

1) 表示・編集状態の登録

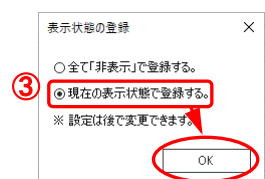
- ① 「レイヤ詳細」ダイアログで表示・編集状態を登録する場合、「状態登録・削除」ボタンをクリックします。



- ② 「レイヤ状態登録・削除」ダイアログが表示されますので、レイヤ状態登録名に名称を入力し、「登録」ボタンをクリックします。



- ③ 「表示状態の登録」ダイアログが表示されますので、「現在の表示状態で登録する。」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- ④ 表示・編集状態が登録されますので、「OK」ボタンをクリックします。

※一ロメモ※

「レイヤ状態登録・削除」ダイアログの左側一覧にある表示状態に項目をドラッグ&ドロップで状態を変更することができます。

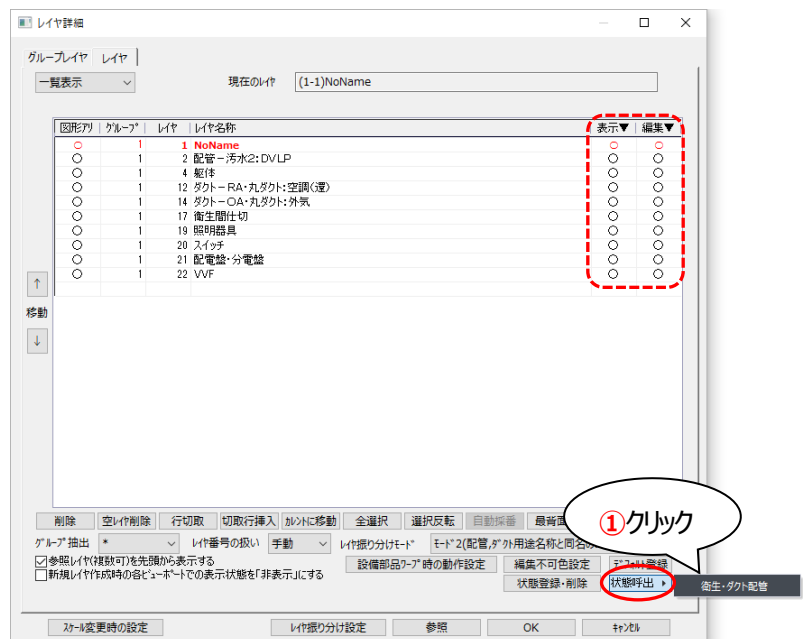
また、「表示状態」「編集状態」の○×をクリックすることで、状態を変更することができます。



グループ	レイヤ	レイヤ名称	表示状態	編集状態
1	1	NoName	○	○
1	2	配管 - 汚水2: D V L P	○	○
1	4	配管	○	○
1	12	ダクト - R A - 丸ダクト: 空調 (通)	○	○
1	14	ダクト - O A - 丸ダクト: 外気	○	○
1	17	衛生用仕切	○	○
1	19	照明器具	X	X
1	20	スイッチ	X	X
1	21	配電盤・分電盤	X	X
1	22	V V F	X	X

2) 表示・編集状態の呼出

- ① 「レイヤ詳細」ダイアログの「状態呼出」ボタンをクリックすると、登録した状態名が表示されますので、表示させたい名称をクリックします。



図形	グループ	レイヤ	レイヤ名称	表示	編集
○	1	1	NoName	○	○
○	1	2	配管 - 汚水2: D V L P	○	○
○	1	4	配管	○	○
○	1	12	ダクト - R A - 丸ダクト: 空調 (通)	○	○
○	1	14	ダクト - O A - 丸ダクト: 外気	○	○
○	1	17	衛生用仕切	○	○
○	1	19	照明器具	○	○
○	1	20	スイッチ	○	○
○	1	21	配電盤・分電盤	○	○
○	1	22	V V F	○	○

- ② 登録した表示・編集状態が呼出されます。

隠線状態の自動更新機能

レイヤやシートを非表示にした際、下のある配管やダクトが隠線されたままとなっていました。設定を切り替えることで表示状態の切替時に自動で隠線を復活できるようになりました。

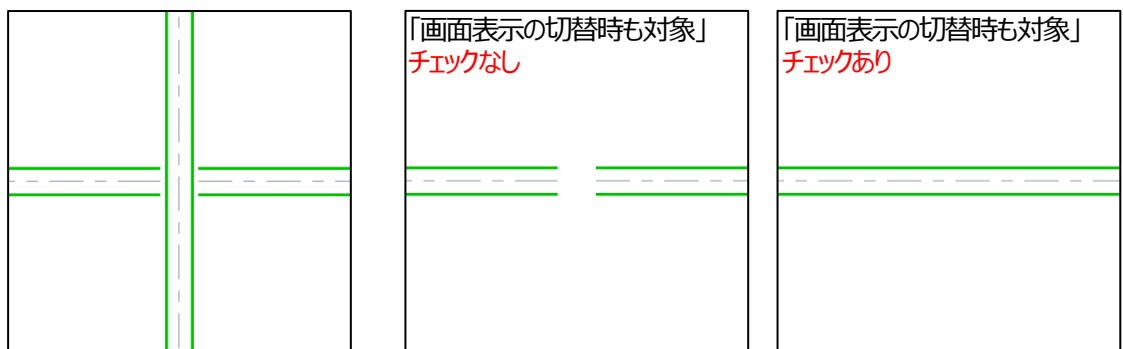
※ 「対象図形数が 100 を超えた場合自動隠線しない」となっております。隠線が自動復活しない場合はこちらの数値を大きくしてください。

- ① リボンメニューの「設定」タブから「配管設定」、「ダクト設定」、「電気設定」を選択します。ここでは、例として「配管設定」を選択します。
- ② 「配管設定」ダイアログが表示されますので、「隠線」タブを選択します。



- ③ 「編集時(自動隠線)」項目内の「画面表示の切替時も対象」にチェックを入れると、シート、レイヤの表示状態を非表示にした際、下図のように、隠線がかかっていた部分の表示は復活し、表示されるようになります。

例) 縦の配管を非表示にした場合



隠線処理機能の一般図形対応

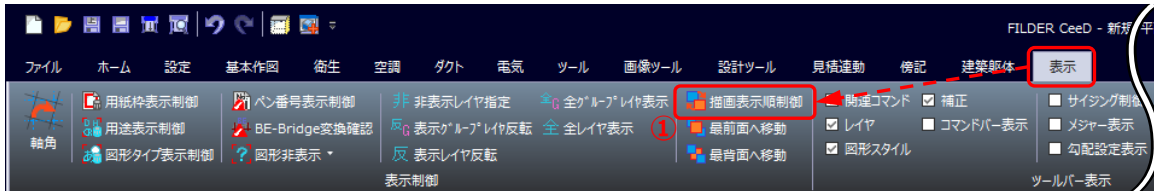
「隠線処理」機能の「モード」を「クリップ」にし、上にしたい部品（図形）を選択し確定、下にしたい部品（図形）を選択し確定すると、配管・ダクトと一般作図図形を隠線処理できるようになりました。

※ 一般図形は事前にグループ化しておきます。

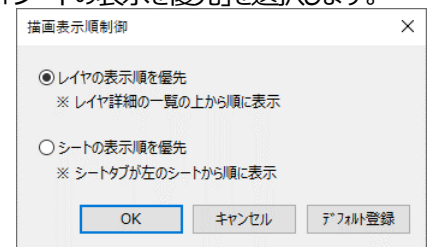
図形の表示順入替

従来の表示順はレイヤ固定だったのを、表示順をレイヤ優先（レイヤは上から下）にするか、シート優先（シートは左から右）にするか選択することができるようになりました。

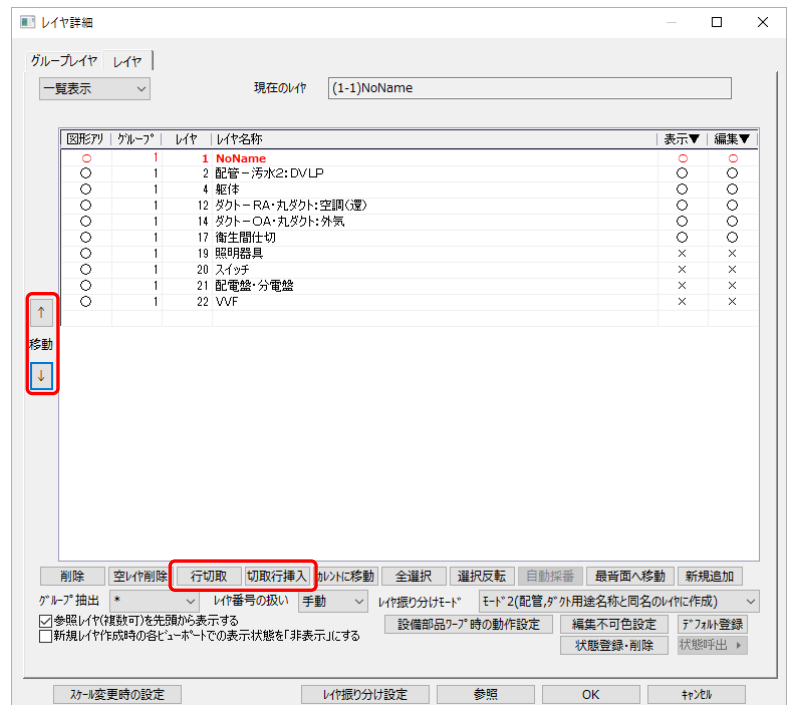
- ① リボンメニューの「表示」タブから「描画表示順制御」を選択します。



- ② 「描画表示順制御」ダイアログが表示されますので、「レイヤの表示順を優先」か「シートの表示を優先」を選択します。



- ③ 「レイヤ詳細」ダイアログの表示順の変更は、「行切取」、「挿入行挿入」で移動、または、移動したいレイヤ名称を選択し（複数選択可）、一覧左側にある移動の「↑」「↓」ボタンで移動できます。



最前面へ移動

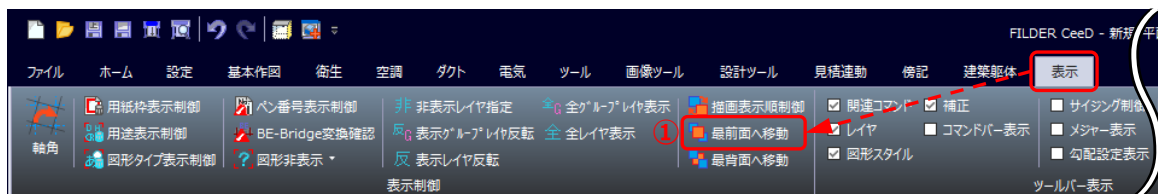
リボンメニューの「表示」タブ内の「最前面へ移動」、[最背面へ移動] コマンドでは、同一レイヤ、もしくは同一シート内には限定せず、レイヤ、またはシートの表示順の制御を超えて「最前面」あるいは「最背面」へ移動します。

塗りつぶしや画像だけでなく、線分や文字なども移動できるようになりました。

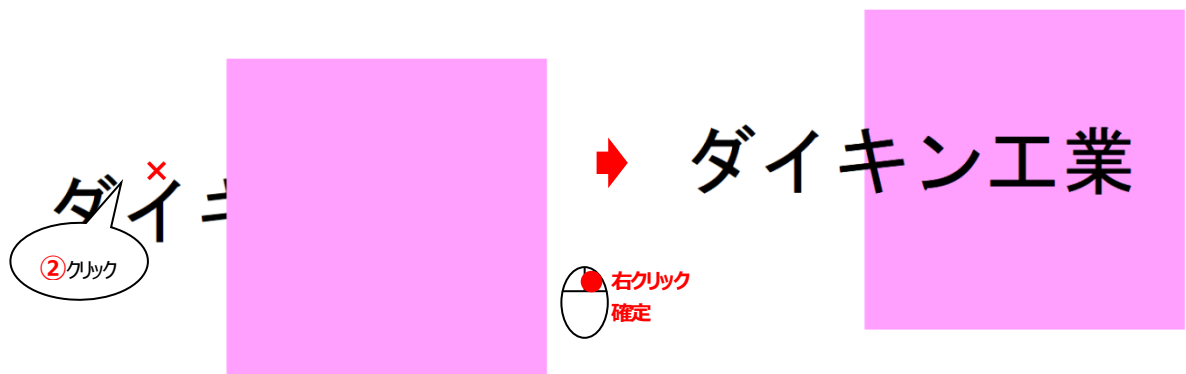
「最前面へ移動」「最背面へ移動」コマンドで移動した部品は「描画表示順制御」コマンドで、レイヤやシートの表示順を優先にしても表示順は変わりません。

最背面へ移動の手順も下記手順と同じです。

- ① リボンメニューの「表示」タブから「最前面へ移動」を選択します。



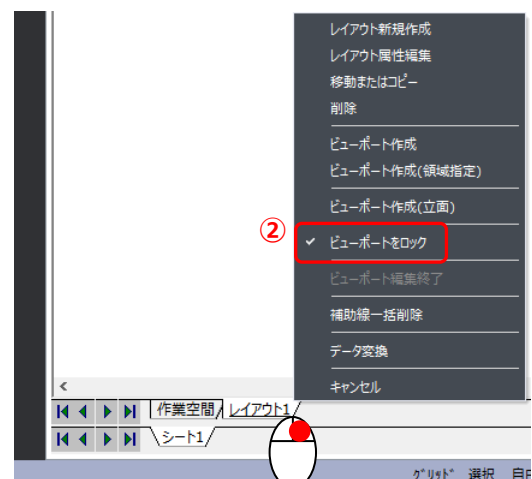
- ② 最前面へ移動する部品を選択し、右クリックで確定すると、選択した図形が最前面へ移動します。



ビューポートのロック

配置したビューポートを誤って選択しないようにロックをかけられるようになりました。

- ① ロックをするビューポートがあるレイアウトを右クリックします。
- ② ショートカットメニューの「ビューポートをロック」をクリックし、チェックを入れます。



- ③ 再びロックを解除する場合は「ビューポートをロック」をクリックし、チェックを外します。
- ※ ビューポートのロックは、すべての図面に対して共通となります。

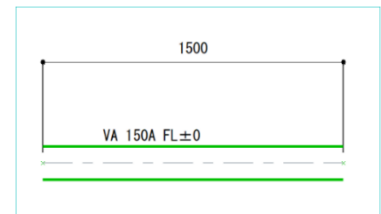
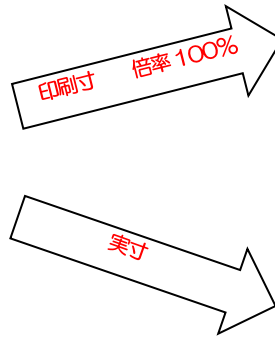
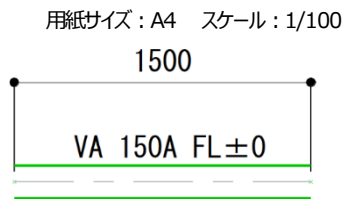
ビューポートスケール変更時の文字サイズ指定

ビューポートのスケールを変更する際、文字サイズ、矢印サイズの設定ができるようになりました。

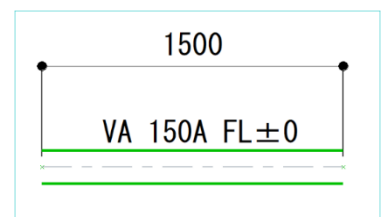
初期値で「印刷寸」となっていますので、スケールの違うビューポートを作成した場合でも、文字サイズは作業空間の文字サイズと同じサイズで表示されます。

以前のようにビューポートのスケールと文字サイズが追従してよい場合は「実寸」を選んでください。

ビューポートスケール：1/50



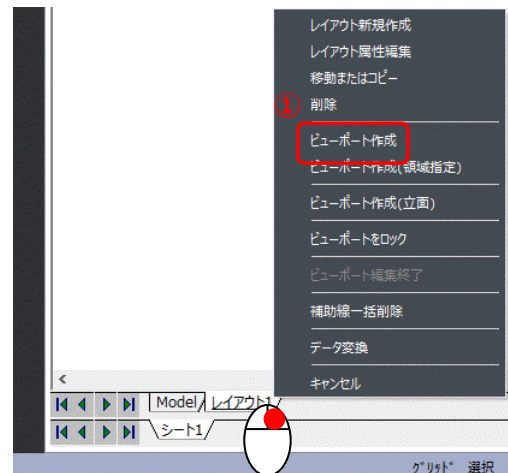
ビューポートスケール：1/50



※注意事項※

「印刷寸」で作成したビューポートを含む図面を
FILDER 旧シリーズ形式、dxf/dwg 形式で保存した場合、
ビューポートは基本図形化された状態となります。

- ① レイアウトタブを右クリックし、ショートカットメニューから「ビューポート作成」を選択します。

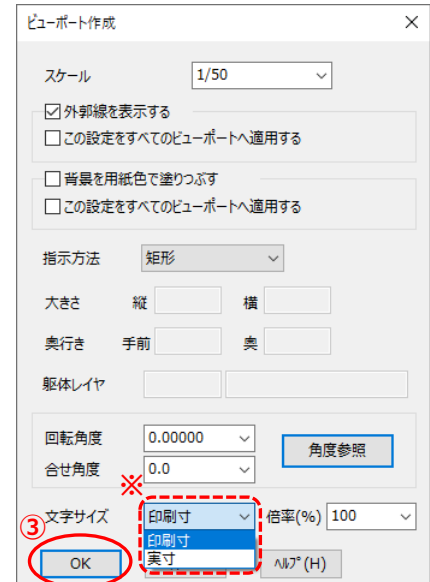


- ② 「ビューポート作成」ダイアログが表示されますので、文字サイズ、倍率を設定します。以前のようにビューポートスケールに準じて文字サイズも大きくしたい場合は「実寸」を選択します。

印刷寸：印刷寸を選択すると、右側の倍率(%)が有効となり、印刷寸倍率で設定することができます。

例) 作業空間スケール 1/100・用紙サイズ A4 の場合 倍率を「200%」に 設定すると、実寸に設定した際と同じ倍率になります。

実寸：右側の倍率(%)が無効となり、従来と同じ設定となります。

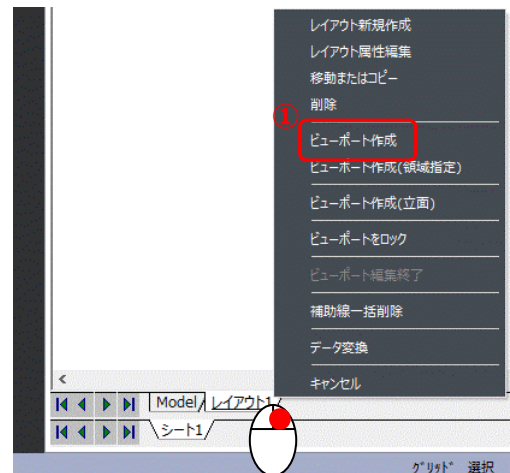


- ③ 「OK」ボタンをクリックします。

ビューポート作成時の配置基点指示

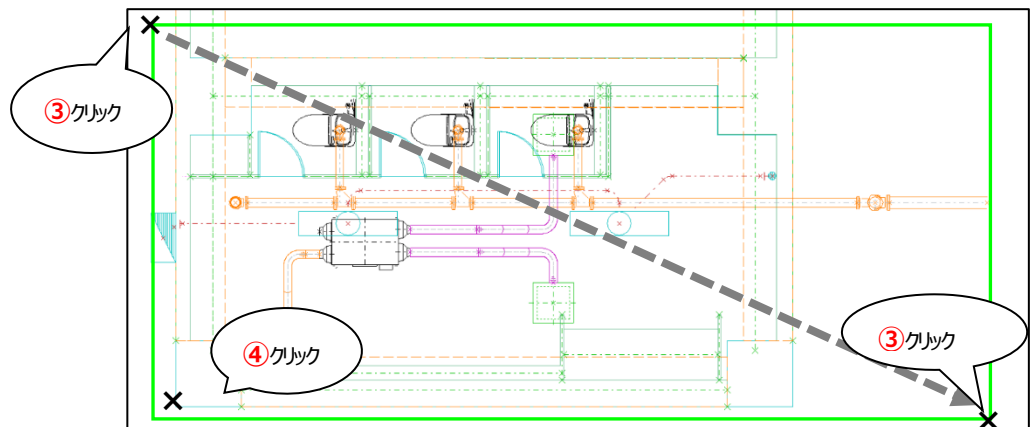
「ビューポート作成」、「ビューポート作成（立面）」を作成する際、配置基点を指定して配置するようになりました。
ここでは、例としてレイアウトタブは作成してあるものとし、ビューポート作成でご説明します。

- ① レイアウトタブを右クリックし、ショートカットメニューから「ビューポート作成」を選択します。



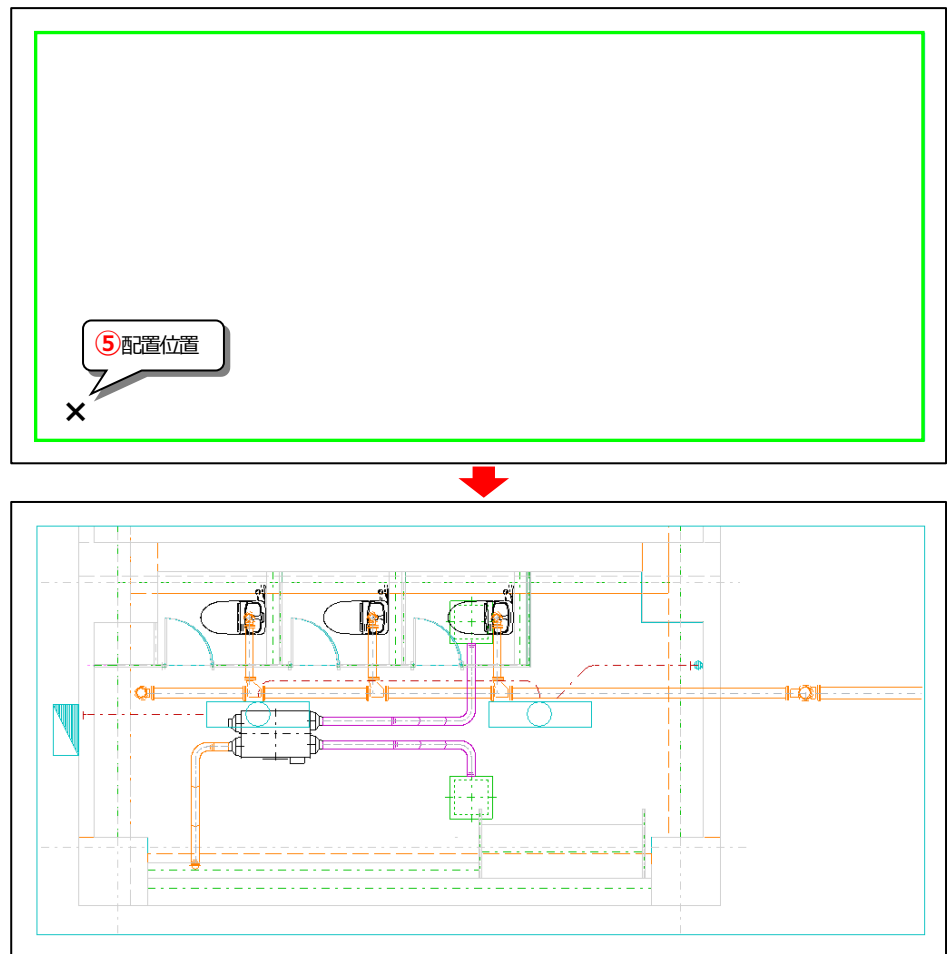
- ② 「ビューポート作成」ダイアログが表示されますので、設定をし、「OK」ボタンをクリックします。ここでは、例として設定は変更せずにそのまま「OK」ボタンをクリックします。

- ③ ビューポートに表示する範囲を指定します。



- ④ 配置基点をクリックするか、右クリックで確定します。
右クリックで確定した場合、基点は選択範囲の左下となります。

- ⑤ 配置位置をクリックすると、ビューポートが作成できます。



電気シンボル（蛍光灯型）のサイズ

シンボル寸の電気シンボル（蛍光灯型）を配置する際、□型の電気シンボルの「長さ（L）」のサイズが、レイヤ、シートのスケールの比率で拡大・縮小されるようになりました。

それに伴い、シンボル寸の電気シンボル（蛍光灯型）を配置する際、□型の電気シンボルの「長さ（L）」には「倍率」がかけられなくなりました。なお、「長さ（L）」以外は従来通り倍率がかけられます。

この結果、全てのサイズが日本電設工業協会の「CAD シンボル寸法基準－2001 年版」に準拠します。

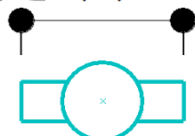
※ 上記は、シンボル寸かつ、[設定] → [電気設定] → [シンボル] の[倍率]の設定が[「シンボル寸」は、各スケールの倍率を使用] が ON の場合のみ対象となります。

※ 電気シンボル（蛍光灯型）は、「照明器具」フォルダ内の□型の電気シンボルを指します。

※ 「□型」とは日本電設工業協会の電気シンボルの説明で使われている用語です。

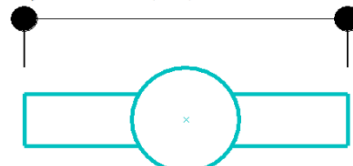
例) レイヤスケール 1/100

長さ (L) : 6mm



例) レイヤスケール 1/50

長さ (L) : 12mm



立面追加の表示面選択

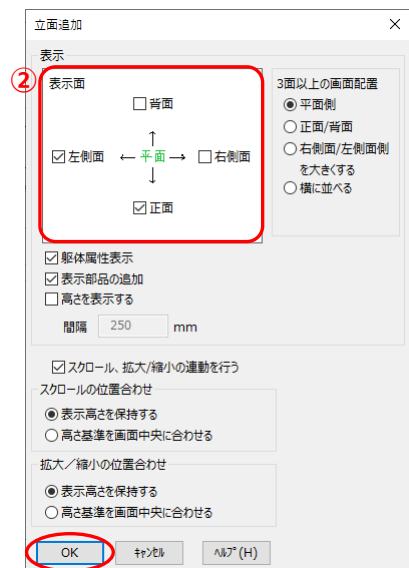
立面追加時に一度に「正面」「右側面」「左側面」「背面」など表示できるようになりました。

- ① リボンメニューの「衛生」タブから「立面追加」を選択します。
(リボンメニューの「空調」、「ダクト」タブ、クイックアクセスツールバーの中にもあります。)

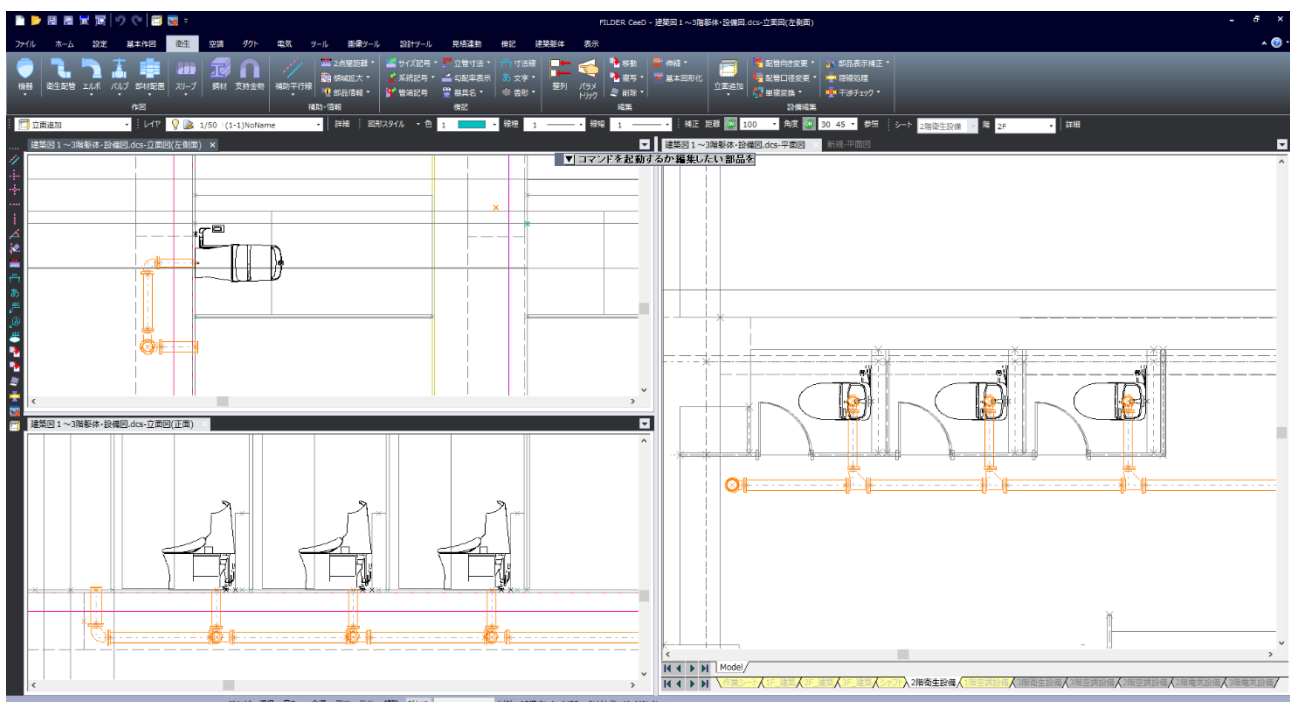


- ② 「立面追加」ダイアログが表示されますので、表示面にチェックを入れます。
ここでは、例として「正面」と「左側面」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。

※ チェックは次回立面追加起動時に保持されます。



- ③ 立面表示する範囲を指定し、右クリックで「確定」します。
- ④ 指定した表示面の立面が表示されます。



ワンポイント

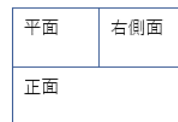


3面以上の画面配置

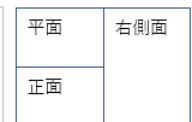
表示面を3面以上設定した場合、ダイアログの「3面以上の画面配置」でどの面を大きく表示するかを選択することができます。

表示面を3面選択した場合

3面以上を同時に表示するときは
● 正面/背面
○ 右側面/左側面
側を大きくする

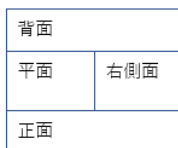


3面以上を同時に表示するときは
○ 正面/背面
● 右側面/左側面
側を大きくする

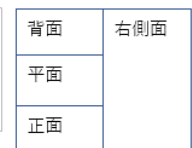


表示面を4面選択した場合

3面以上を同時に表示するときは
● 正面/背面
○ 右側面/左側面
側を大きくする

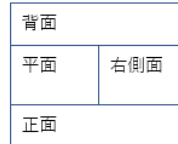


3面以上を同時に表示するときは
○ 正面/背面
● 右側面/左側面
側を大きくする

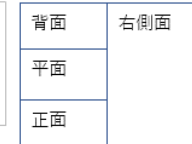


表示面を5面すべて選択した場合

3面以上を同時に表示するときは
● 正面/背面
○ 右側面/左側面
側を大きくする

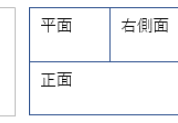


3面以上を同時に表示するときは
○ 正面/背面
● 右側面/左側面
側を大きくする

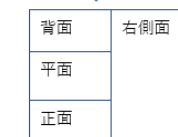


すでに立面がある状態で 追加表示する場合（例：背面を追加）

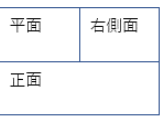
3面以上を同時に表示するときは
○ 正面/背面
● 右側面/左側面
側を大きくする



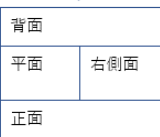
背面を追加



3面以上を同時に表示するときは
● 正面/背面
○ 右側面/左側面
側を大きくする



背面を追加



寸法線自動付加

寸法線自動付加のとき、寸法線作図途中に一般図形も選択できるようになりました。

※ 操作方法については「ユーザズガイド」をご参照ください。



伸縮端点決定方法

伸縮する際、伸縮する端点の選び方を「対象部品指示位置」か「伸縮先方向」に設定できるようになりました。

「伸縮先方向」は、伸縮する図形をクリックした位置より、どちら側を指示するかで端点が決定します。

「対象部品指示位置」は、今まで通りクリックした位置に近い端点を伸縮します。

※ 操作方法については「ユーザズガイド」をご参照ください。

「印刷色」「線幅」複数一括設定

「印刷色」「線幅」を複数一括変更できるようになりました。

従来の「画面色→印刷色」ボタンは、印刷色一括設定ダイアログの「画面色に合わせる」をご利用ください。

① リボンメニューの「設定」タブから「環境設定」を選択します。

② 「システム設定」ダイアログが表示されますので、「印刷色・線幅」タブを選択します。

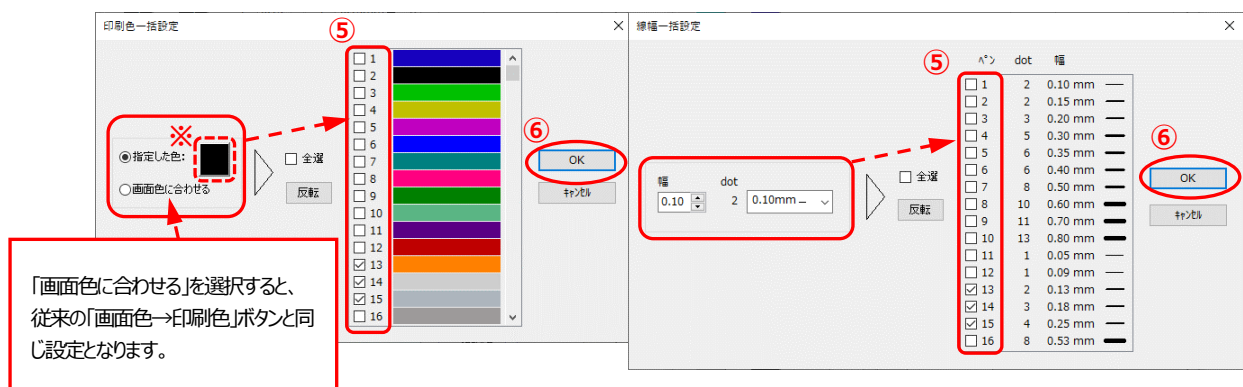
③ 「画面色で印刷する」のチェックを外します。

④ 「印刷色」を変更する場合は「印刷色一括設定」ボタン、「線幅」を変更する場合は「線幅一括設定」ボタンをクリックします。



⑤ 左側で色または線幅を指定し、変更する色またはペン番号にチェックを入れます。

※ 「指定した色」をクリックすると、「色の指定」ダイアログが表示されますので、任意の色に変更することができます。



⑥ 「OK」ボタンをクリックします。

⑦ 「OK」ボタンをクリックし、設定を保存します。

※ 今後、この設定を新規図面で使用する場合は、「デフォルト登録」ボタンをクリックします。



設定ダイアログ内名称表示

「環境設定」内「選択」タブのレイヤ名称を選択する際に名称が全て表示されるようになりました。

また、「寸法線設定」「配管設定」「ダクト設定」の線種を選択するプルダウンメニューの表示幅を広げ、長い線種名称も表示できるようにしました。

バルーン、線分の矢印付加・削除

バルーン、線分の矢印付加がプロパティで変更できるようになりました。

右クリックショートカットメニュー内の「矢印付加」メニューは無くなりました。

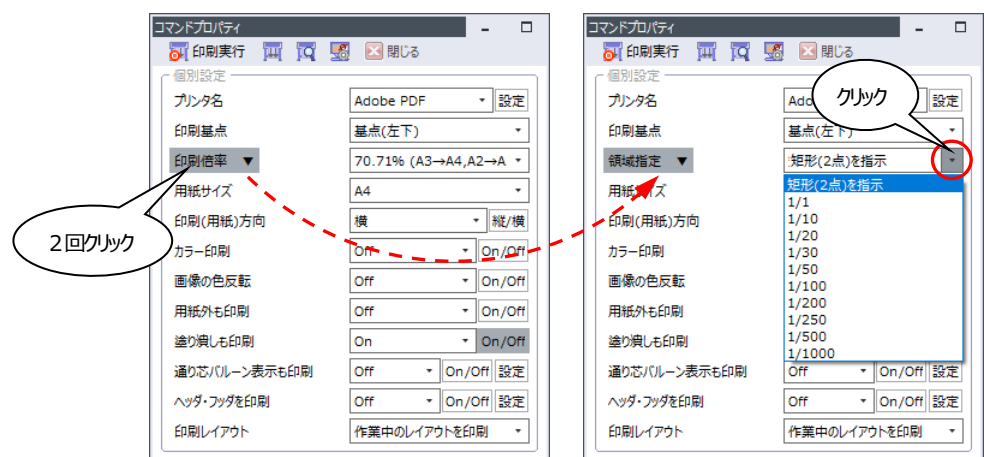


印刷時の領域指定

印刷時に領域指定でスケールが指定できるようになりました。

コマンドプロパティの「印刷倍率」を 2 回クリックし、「領域指定」にし、右側の欄の▼をクリックし、プルダウンメニューからスケールを選択します。

欄内をクリックすると、スケールの数値を直接入力して指定することができます。直接入力したスケールの履歴は、固定スケール一覧の下に入力した順に最大 5 個残ります。

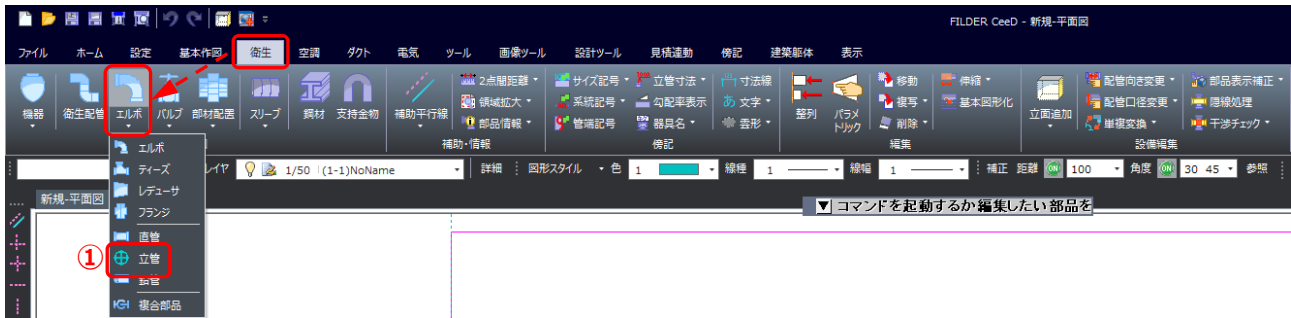


立管コマンド

立管をコマンドから配置できるようになりました。

※ 立管コマンドは立面ウィンドウには配置できません。配置できるのは平面ウィンドウのみとなります。

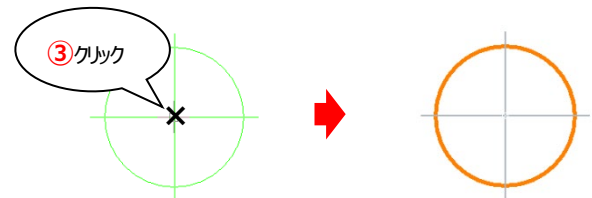
- ① リボンメニューの「衛生」、「空調」、「ダクト」タブの「エルボ」から「立管」、「立管ダクト」を選択します。
ここでは、例として「衛生」でご説明します。



- ② コマンドプロパティで「高さ（始点）」「高さ（終点）」を設定します。



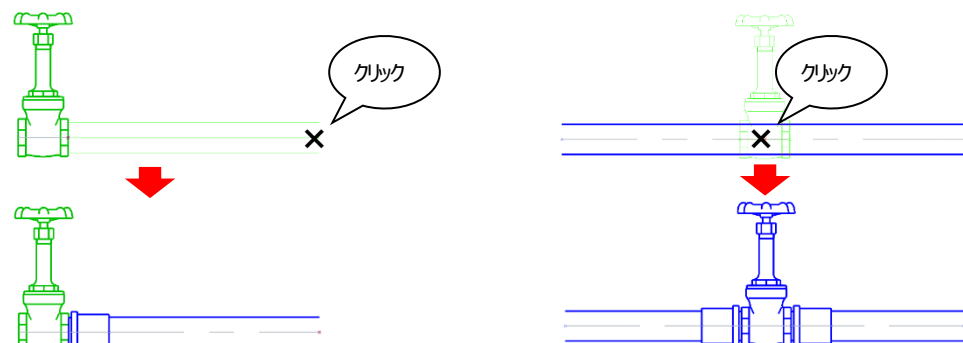
- ③ 配置位置でクリックすると、立管が配置できます。



バルブソケットの自動付加

バルブ（ねじ込み部材）から配管（塩ビ配管）を作図する、配管にバルブを挿入する際、バルブソケットが自動付加されるようになりました。

※ FILDER Cube 図面、FILDER Rise 図面、旧バージョンで保存されている FILDER CeeD 図面は、保存時のマスターが有効になっているためバルブソケットは自動挿入されません。FILDER CeeD の配管マスターを読み込むか、現在の配管マスターに個別にバルブソケットを追加する必要があります。



STEM(ダイキン)ダウンロードボタン

STEM データのダウンロードページを CAD の画面から開けるようになりました。

リボンメニューの「空調」タブの「機器ライブラリ」から「STEM(ダイキン)ダウンロード」を選択すると、STEM データダウンロードサイトが表示されますので、「ダイキン空調機 STEM データインストール」の「ダウンロード」をクリックし、ダウンロードします。



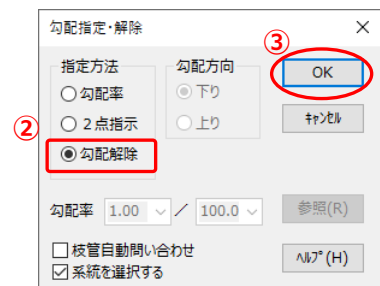
勾配解除時の基点表示

勾配解除時、基点が表示され、基点を変更できるようになりました。

- ① リボンメニューの「衛生」タブの「配管向き変更」から「勾配指定」を選択します。
(リボンメニューの「空調」タブの中にもあります。)

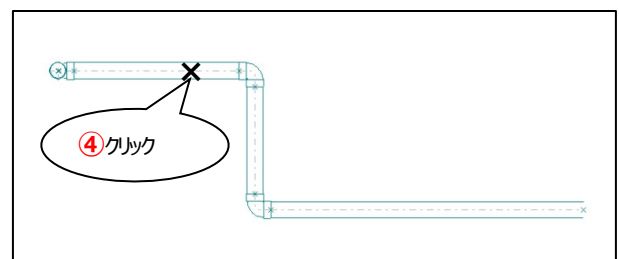
- ② 「勾配指定」ダイアログの「指定方法」で「勾配解除」を選択します。

※ 「枝管自動問い合わせ」にチェックを入れると、枝管も同時に解除することができます。

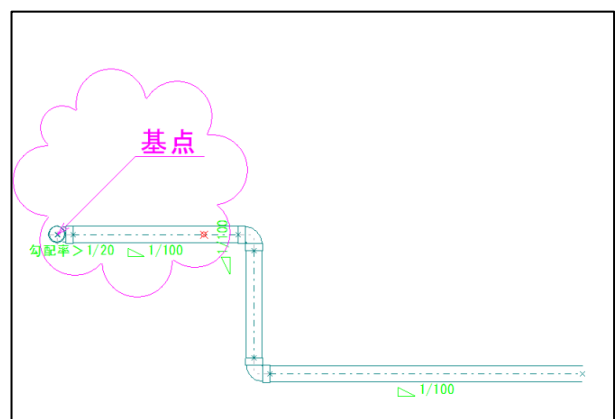


- ③ 勾配解除する配管をクリックします。

※ 「勾配指定・解除」ダイアログで、「系統を選択する」のチェックを外している場合、クリックした配管のみ選択されます。



- ④ 勾配解除の基点が表示されます。正しければ右クリックで確定します。基点を変更する場合は、基点にする位置をクリックすると勾配が解除されます。



電気シンボルの高さ基準設定

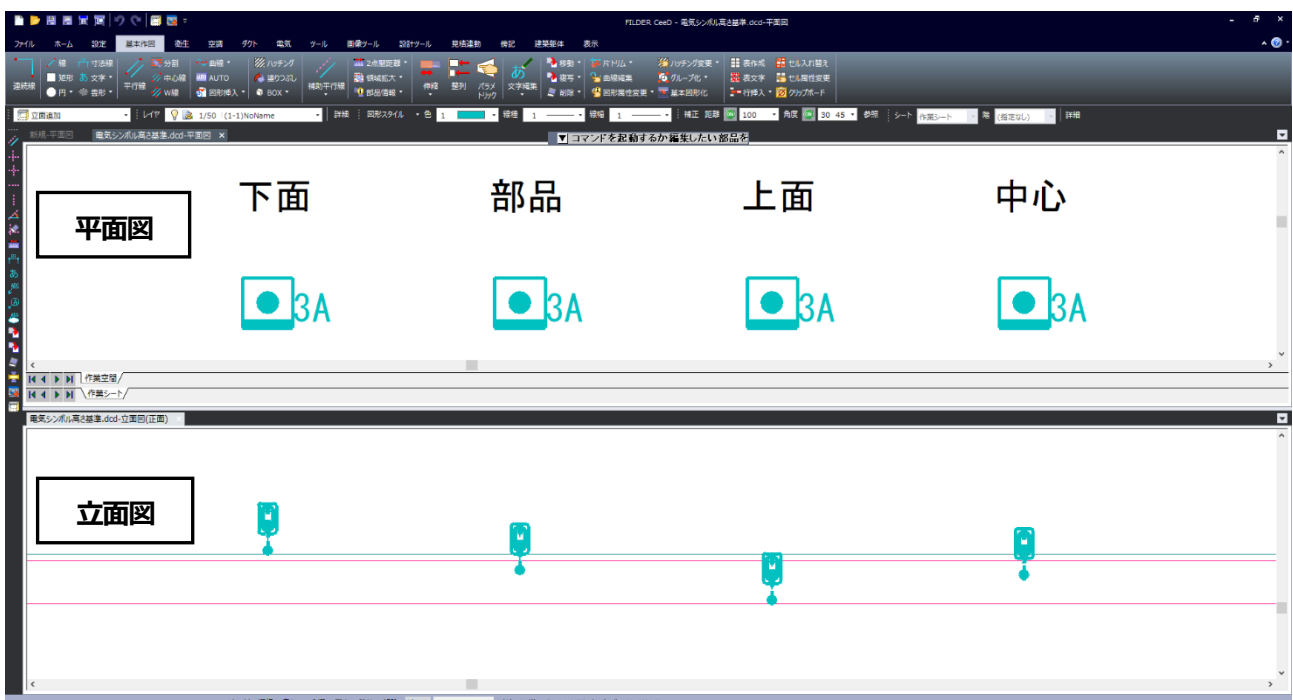
電気シンボルを配置する際、コマンドプロパティで配置高さ基準（下面、部品、上面、中心）を設定することができるようになりました。

※ 図面内の電気シンボルをワープした場合には高さ基準は取得されないで下面基準での配置となります。

- ① リボンメニューの「電気」タブから「電気シンボル」を選択します。
- ② 「電気シンボル配置」ダイアログから、配置する電気シンボルを選択します。
ここでは、例として「埋入押釦スイッチ（ON保持形）（パイロットランプ・泡沫形プレート・リード線付）」を選択します。
- ③ コマンドプロパティの「配置高さ・基準」で、「下面」、「部品」、「上面」、「中心」から選択します。



- ④ 設定した配置高さ基準で電気シンボルを配置します。



材質付加/材質解除

壁、円弧壁、角柱、円柱にコンクリート等の材質がわかるように、材質の表示を付加、解除できるようになりました。

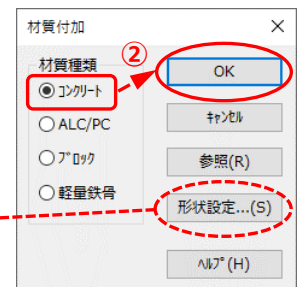
- ① リボンメニューの「建築躯体」タブから「材質付加」を選択します。



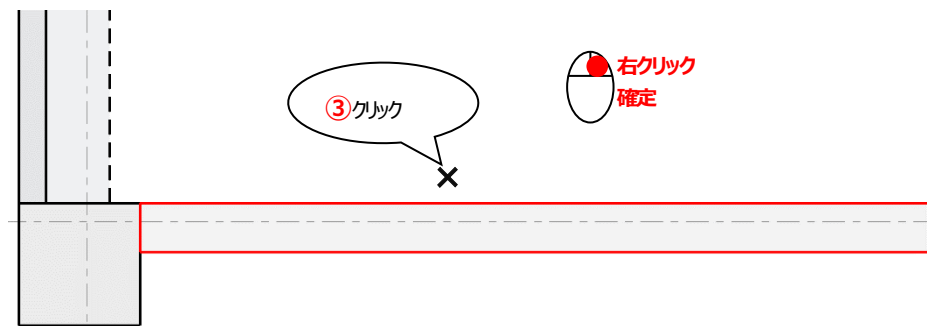
- ② 「材質付加」ダイアログが表示されますので、材質種類を選択します。

ここでは、例としてコンクリートを選択します。

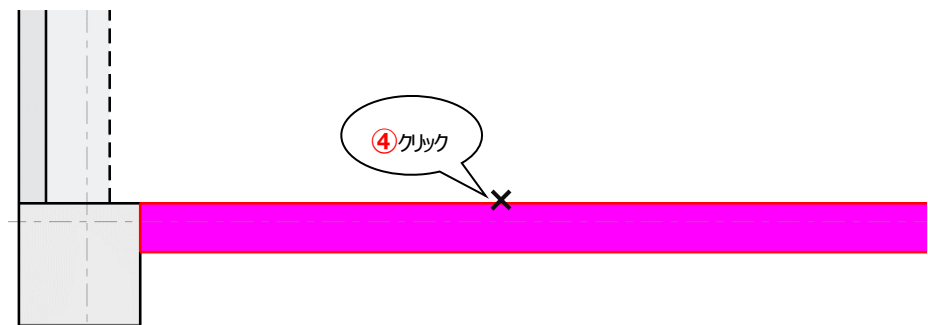
各材質種類に対して、「形状設定」ボタンから、形状（角度やピッチ、長さや幅など）の設定を変更することができます。



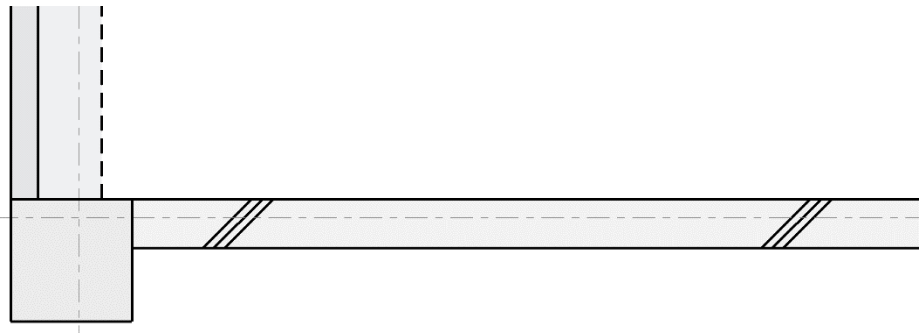
- ③ 材質付加する躯体を選択し、右クリックで確定します。



- ④ 選択した躯体がハイライト表示されますので、材質付加する基点をクリックします。



- ⑤ 選択した躯体に材質付加されます。

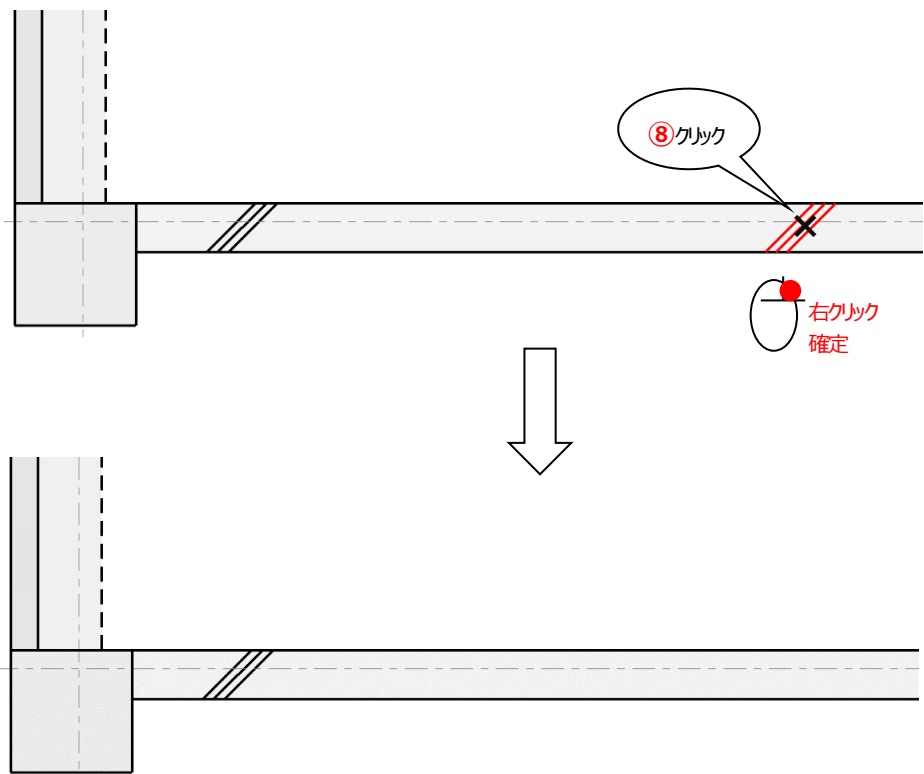


- ⑥ 続けて、材質付加をする場合は、③④を繰り返します。
終了する場合は、コマンドキャンセルします。

- ⑦ 材質解除する場合は、リボンメニューの「建築躯体」タブの「材質付加」から「材質解除」を選択します。



- ⑧ 解除する材質記号を選択し、右クリックで確定します。



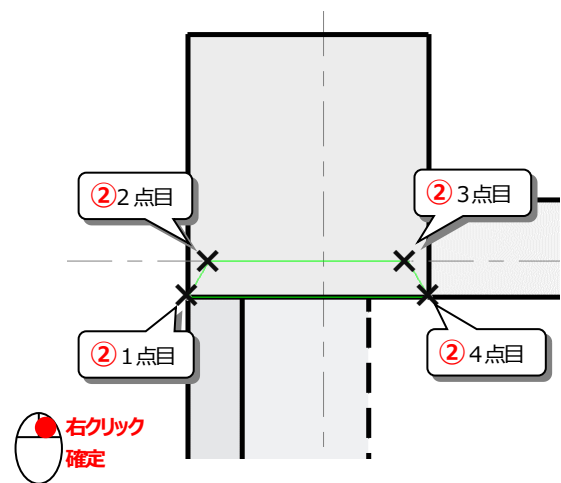
手動包絡

角柱、円柱、鉄骨角柱、壁、円弧壁、梁、斜梁、円弧梁、鉄骨梁、水平ハンチ／ドロップ、床スラブ、天井に、包絡処理では意図した形の包絡にならない場合、手動で部分的に包絡がかけられるようになりました。

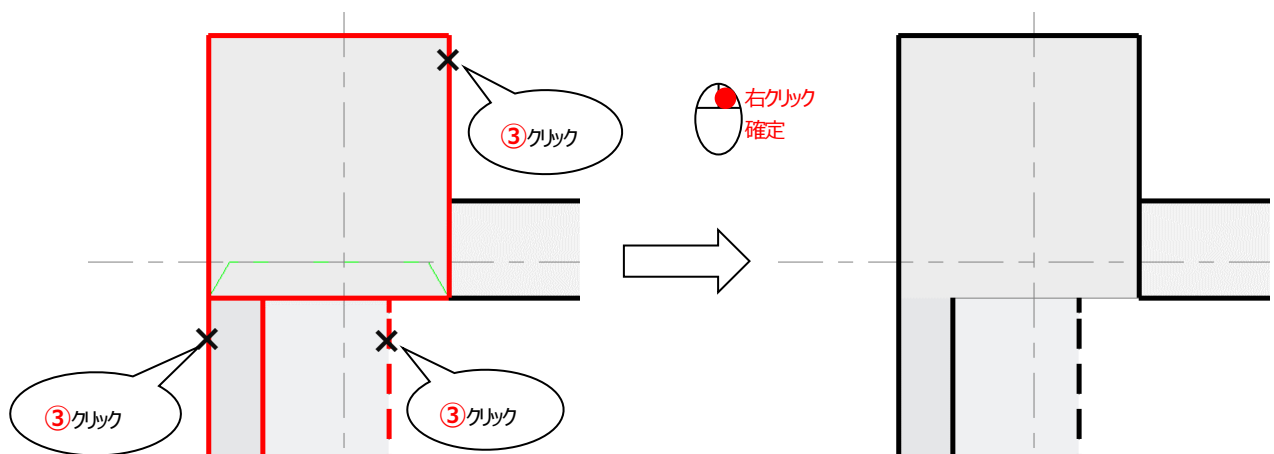
- ① リボンメニューの「建築躯体」タブの「包絡処理」から「手動包絡」を選択します。



- ② 包絡したい躯体の領域を指定し、右クリック確定します。



- ③ 包絡対象の躯体部品を選択し、右クリック確定します。



DK-BIM 連携

DK-BIM は、空調設備設計で行う作業のデジタル化・自動化を行うシステムです。

FILDER CeeDとDK-BIMを連携することにより、室内機、室外機、冷媒配管の長さ、レフネットジョイントの個数などの情報を元に冷媒配管口径の選定、冷媒追加充填量の算出、レフネットなどの型番選定を DK-BIM に行わせ、FILDER CeeD 図面へ反映することができます。

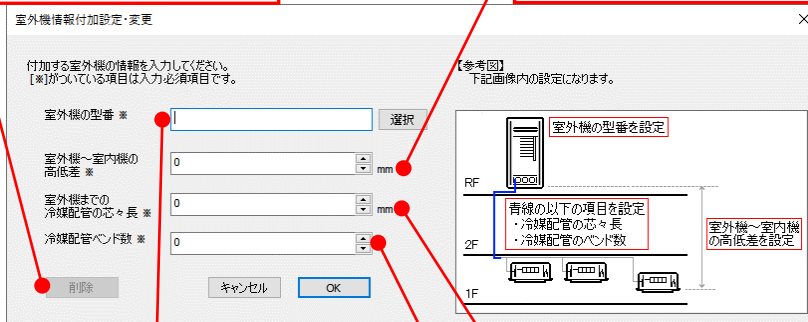
リボンメニューの「DK-BIM 連携」タブ内のコマンドはユーザ設定コマンドの選択項目に追加されましたので、リボン、ツールバー、ショートカットメニュー、ショートカットキー、クイックアクセスツールバー、コマンドプロパティダイアログに設定することができます。

※ FILDER CeeD 電気版ではこちらの機能はありません。

「室外機情報付加設定・変更」コマンドは、「冷媒選定」コマンドを実行する際に必要となる室外機情報（室外機の型番、室外機～室内機の高低差、室外機までの冷媒管の芯々長、室外機までの冷媒配管のバンド数、冷媒追加充填量）を管端記号に保存・編集ができる機能となります。

※ 「室外機情報付加設定・変更」されている図面は、FILDER CeeD 電気版でも読み込むことができます。ただし、対象部材である冷媒管は選択不可の状態を読み込まれ、冷媒管に設定された室外機情報を表示・編集することはできません。

「削除」ボタンは編集を行うときのみに有効となります。



室外機情報付加設定・変更

付加する室外機の情報を入力してください。
【※】がついている項目は入力必須項目です。

室外機の型番 ※ 選択

室外機～室内機の
高低差 ※ mm

室外機までの
冷媒配管の芯々長 ※ mm

冷媒配管バンド数 ※

削除 キャンセル OK

【参考図】
下記画像内の設定になります。

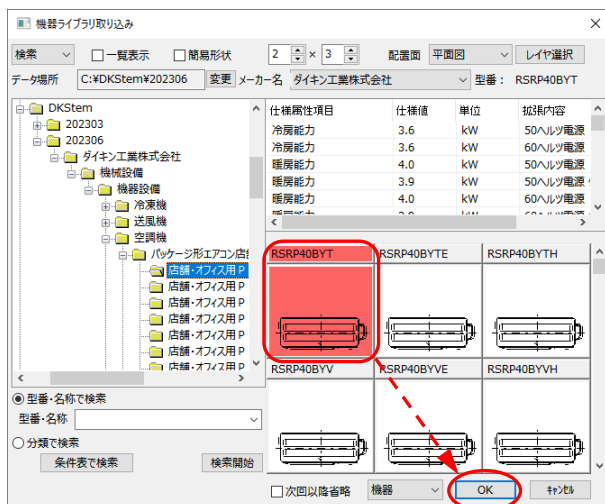
室外機の型番を設定

青線の以下の項目を設定
・冷媒配管の芯々長
・冷媒配管のバンド数

室外機～室内機
の高低差を設定

室外機～室内機の高低差を設定します。
0 以上の正の整数で、0～999,999 以下までの数値を入力
します。

室外機の型番を入力します。
「選択」ボタンをクリックすると、「機器ライブラリ取り込み」ダイアログが表示されます
ので、室外機を選択します。
室外機であれば、益害、重塩害仕様の室外機や冷暖フリーの室外機、ルームエア
コンの室外機の型番などを選択できます。
ここでは、例として DKStem202306 版の中にある「RSRP40BYT」を選択し
「OK」ボタンをクリックします。



機器ライブラリ取り込み

検索 一覧表示 ☐ 簡易形状 ☐ 2 x 3 配置面 平面図 レイヤ選択

データ場所 C:\DKStem\202306 変更 メーカー名 ダイキン工業株式会社 型番: RSRP40BYT

DKStem
202303
202306
ダイキン工業株式会社
機械設備
冷凍機
送風機
空調機
パッケージ型エアコン
店舗・オフィス用 P
店舗・オフィス用 P
店舗・オフィス用 P
店舗・オフィス用 P
店舗・オフィス用 P
店舗・オフィス用 P

仕様項目	仕様値	単位	拡張内容
冷房能力	3.6	kW	50ヘルツ電源
冷房能力	3.6	kW	60ヘルツ電源
暖房能力	4.0	kW	50ヘルツ電源
暖房能力	3.9	kW	50ヘルツ電源
暖房能力	4.0	kW	60ヘルツ電源

RSRP40BYT RSRP40BYE RSRP40BYH

RSRP40BYV RSRP40BYVE RSRP40BYVH

型番・名称で検索
型番・名称

分類で検索
条件表で検索

検索開始

☐ 次回以降省略 機器 OK キャンセル

室外機までの冷媒配管の芯々長を設定します。
0 以上の正の整数で、0～999,999 以下までの数値を入力
します。

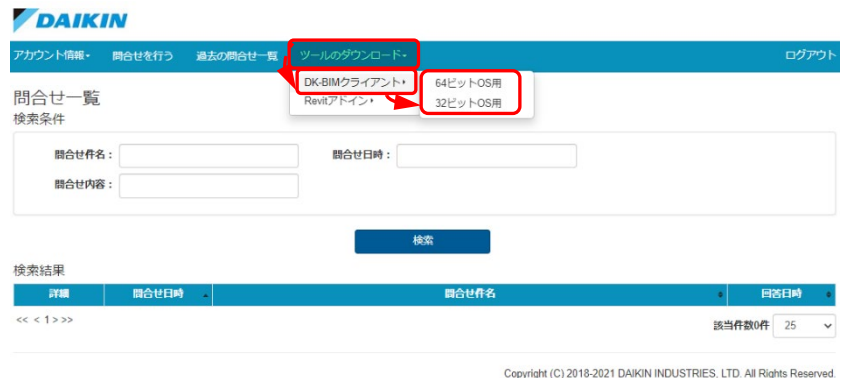
室外機までの冷媒配管のバンド数を設定します。
0 以上の正の整数で、0～999 までの数値を入力します。

＜注意事項＞

これらの室外機は冷媒選定計算の対象外であるため冷媒選定計算を行う際にエラーとなります。

「DK-BIM アカウント作成依頼」コマンドは、「冷媒選定」を行う際、DK-BIM のログインに必要なアカウント作成を依頼するコマンドとなります。

また、アカウント作成後、DK-BIM のサイトへログインし、DK-BIM クライアントをダウンロードし、インストールします。



「冷媒選定」コマンドは、DK-BIM を使用し冷媒選定を行い、その結果を図面に反映します。

ただし、下記の機器は冷媒選定の対象外となります。

冷暖フリーの室外機

- ・ルームエアコンの室外機

- ・ルームエアコンの室内機

- ・塩害、重塩害仕様の室外機

※ 塩害、重塩害仕様の室外機は冷媒選定の計算を行うときのみ型番の末尾 1 文字を削除し、内部的に標準版に変換し冷媒選定計算を行います。

※ 「冷媒選定」されている図面は、FILDER CeeD 電気版でも読み込むことができます。

ただし、対象部材の一部である冷媒配管、レフネットジョイントは選択不可の状態で読み込まれ、冷媒配管のプロパティ、レフネットジョイントのプロパティを表示・編集することはできません。

※ 室外機、室内機などの機器に関しては FILDER CeeD 電気でも選択可能な状態で読み込まれるため、プロパティを表示することができ本コマンドにて設定した情報を確認・編集することができます。

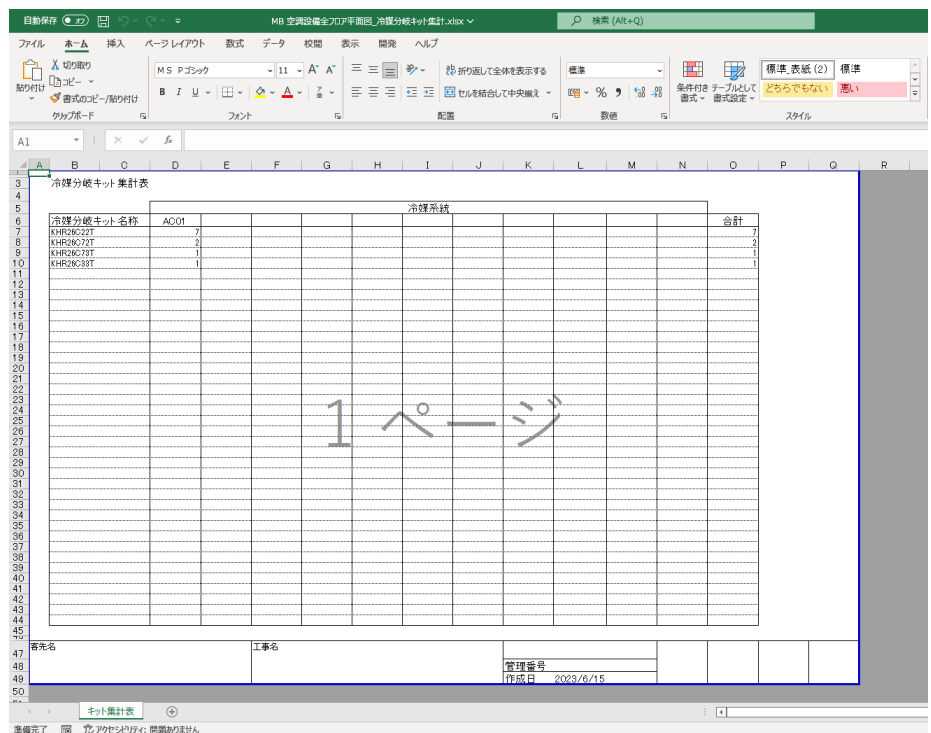
「冷媒分岐キット集計」コマンドは、レフネットジョイント部品を選択された冷媒系統ごとに集計しエクセルに表形式で出力します。

ただし、下記の部品は集計できません。

- ・レフネットヘッダー

- ・BS ヘッダー

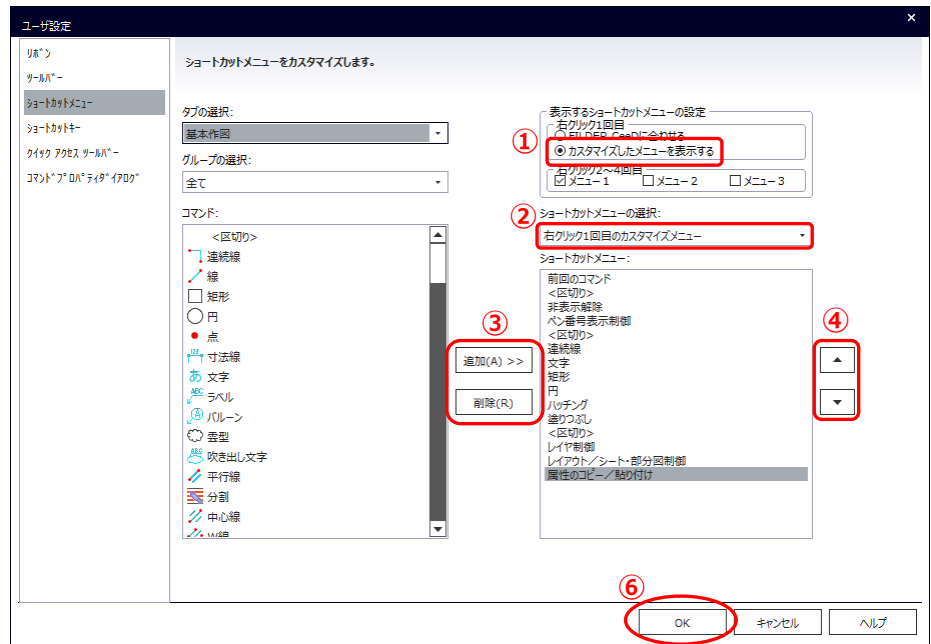
- ・BS ユニット



冷媒分岐キット名称	AC01	合計
KHR2622T	7	7
KHR2627T	2	2
KHR2628T	1	1
KHR2629T	1	1

ショートカットメニュー設定

FILDER CeeD の 1 回目に右クリックしたときにお客様がカスタマイズしたメニューを表示するように設定することができます。



- ① 表示するショートカットメニューの設定で、「カスタマイズしたメニューを表示する」を選択します。
- ② ショートカットメニューの選択で、「右クリック 1 回目のカスタマイズメニュー」を選択します。
- ③ ショートカットメニュー欄に表示されている項目を追加・削除します。
- ④ ショートカットメニューを並び替える場合は「▲」「▼」で順番を並び替えます。
- ⑤ 「OK」ボタンをクリックすると、次の操作から設定したショートカットメニューが 1 回目の右クリックで表示されます。



基本図形の属性コピー

基本図形の色／線幅／文字サイズなどをコピーし、別の基本図形に貼り付けられます。
属性とはシート、レイヤ、色、線種、線幅、矢印サイズ、文字サイズなどのことを指します。
対象部品は下記となります。

【対象部品】

線分、ポリライン、円、円弧、楕円、楕円弧、曲線（スプライン・ベジェ）、点、塗りつぶし、ハッチング、寸法線、文字、表文字、ラベル、吹き出し文字、バルーン、BOX、円柱、多角柱、表、グループ

※ ポリラインは作図できませんが、他 CAD からの入力には対応しているため、対象となります。

コピー元図形をクリックする際、クリック位置によりコピーされる個別属性の情報が変わります。下記の個別属性コピーの概要の＜注意＞をご参照ください。

(1) 基本属性：部品種類によらず、基本属性を持つ対象部品に属性がコピー／貼り付けされます。

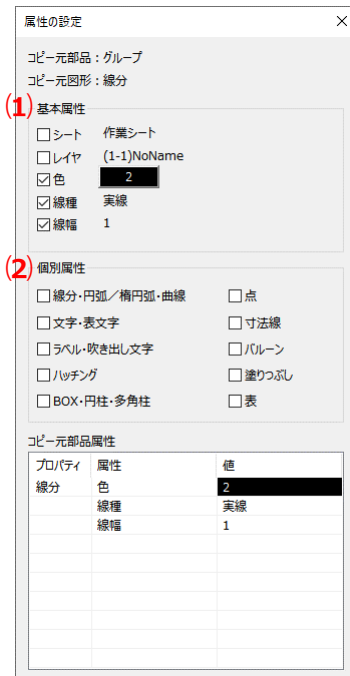
(2) 個別属性：個別属性は、その図形特有の属性となります。

同じ部品種類同士でのみ属性がコピー／貼り付けされます。

異なる部品種類同士では属性がコピー／貼り付けされません。

個別属性以外の図形は基本属性のみコピー／貼り付けれます。

下記の個別属性コピーの概要をご参照ください。



コピー元部品属性		
プロパティ	属性	値
線分	色	2
	線種	実線
	線幅	1

個別属性コピーの概要	
線分・円弧／楕円弧・曲線（スプライン・ベジェ）	矢印付加の設定全て
表	コマンドプロパティ内の「セル設定」内のマージン上・下・右・左 ＜注意＞ 文字幅、文字間隔、基点情報変更時、セル内に文字が表示できなくなる設定値の場合にエラーメッセージダイアログが表示されるようになりました。 電気シンボル表と配線表でセルのマージン上、下、左、右を小さい値に変更すると、文字幅が小さくなる場合があります。
文字、表文字	「文字サイズ設定」の「基本図形文字」タブ内の全ての設定 ＜注意＞ 基本作図の「文字」同士以外、文字配置基点をコピーしません。
寸法線	「寸法線設定」の設定 ＜注意＞ 寸法線の文字部分ををクリックすると文字を含めた個別情報すべてコピーします。 寸法線や寸法補助線の部分ををクリックすると、文字情報はコピーされません。
ラベル、吹き出し文字	コマンドプロパティ内の「スタイル」内の全ての設定 ＜注意＞ ラベルの矢印をコピーする場合、矢先をコピー元として選択しても、矢印はコピーされません。 水平線陪分をクリックしても個別情報はコピーされません。 ラベルのコピー元は引出し線を選択してください。ただし、この場合文字情報はコピーされませんので、文字情報もコピーする場合は、再度「属性コピー／貼り付け」で文字情報をコピーしてください。
バルーン	コマンドプロパティ内の「個別設定」の「枠形状」、「枠線パターン」、「スタイル」内の全ての設定
ハッチング	コマンドプロパティの設定ボタンを押して表示されるダイアログ内の全ての設定
塗りつぶし	コマンドプロパティ内の「個別設定」の「色設定」、「透過率(%)」の設定 ※塗りつぶしは塗りつぶしのみ属性コピーできます。 ＜注意＞ 塗りつぶしのコピー元は図形の外形線を選択してください。 コピー先の塗りつぶし図形内をクリックすると「色設定」、「透過率(%)」がコピーされます。
BOX・円柱・多角柱	コマンドプロパティの「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」内の設定
点	コマンドプロパティ内のサイズ、角度、種類の設定

クイックアクセスツールバーの設定読み込み

FILDER CeeD には「システム設定」画面－「環境設定」タブで環境設定ファイルの保存／読み込みを行える機能がありますが、この機能で「ユーザ設定」についても保存／読み込みを行っています。

読み込む際、クイックアクセスツールバーの設定も読み込みできるようになりました。

JWW に線色を設定して出力

JWW 形式へのファイル保存時、FILDER CeeD の 9 番以降の線色・線幅を使用していた場合、JWW への線幅 1～8 番への線色を設定して出力することができます。

① FILDER CeeD で図面作図後、リボンメニューの「ファイル」タブから「名前を付けて保存」を選択します。

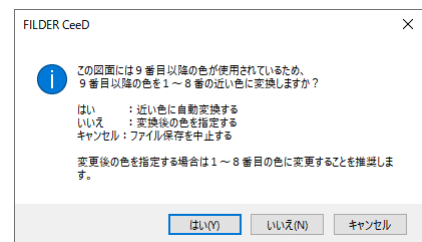
② 「ファイルの種類」で「JW-CAD ファイル(*.jww)」を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

③ 保存する図面に 9 番目以降の線色が使用されている場合、ダイアログが表示されます。

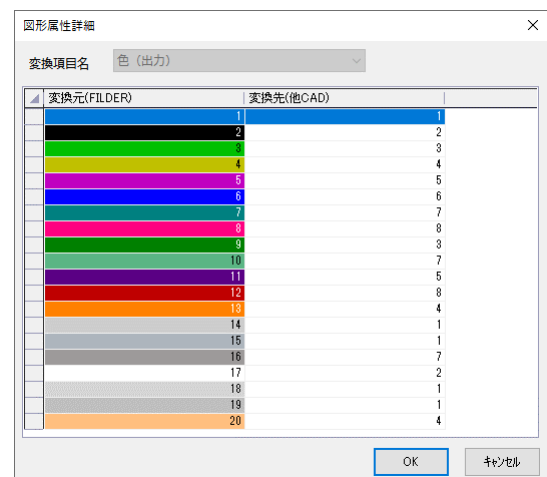
「はい」ボタン : 近い色に自動変換する

「いいえ」ボタン : 変換後の色を指定する

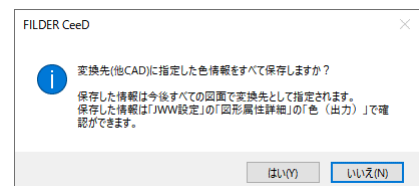
「キャンセル」ボタン : ファイル保存を中止する



④ ③で「いいえ」ボタンを選択した場合、「図形属性詳細」ダイアログが表示され、出力する色の設定をすることができます。変換先の番号を指定して「OK」ボタンをクリックすると、指定した色で出力保存します。



⑤ 「変換先(他 CAD)に指定した色情報をすべて保存しますか？」の確認ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、「図形属性詳細」が保存されます。



⑥ レイアウト、シートをデータ変換する際も同様に③④の手順で色設定ができます。

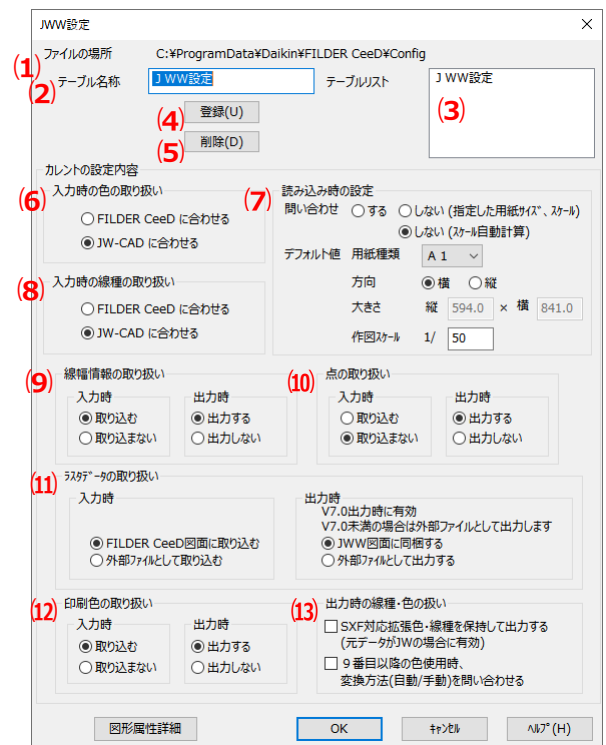
JWW 設定

JWW 設定を詳細に設定できるようになりました。

- ① リボンメニューの「設定」タブから「JWW 設定」を選択します。



- ② 「JWW 設定」ダイアログが表示されますので、読み込み時の詳細設定ができます。



- (1) **ファイルの場所**：設定を保存したテーブルが保存されている場所を表示します。
- (2) **テーブル名称**：「テーブルリスト」から選択したテーブル名称を表示します。新たにテーブルを登録する場合は、登録するテーブル名称を入力します。
- (3) **テーブルリスト**：すでに登録されているテーブル名称を表示します。クリックしたテーブルの設定が反映されます。
- (4) **【登録】ボタン**：「カレントの設定内容」の設定値を入力しているテーブル名称で登録します。
- (5) **【削除】ボタン**：テーブルリストから選択したテーブルを削除します。
- (6) **入力時の色の取り扱い**：読み込み時に FILDER Ceed の色設定に合わせるか、JW-CAD の色に合わせるかを選択します。
- (7) **読み込み時の設定**：読み込み時にスケールや用紙サイズの問い合わせをするか、しないかの設定をします。
※ 異スケールレイヤが混在する図面を読み込む場合、問い合わせを「しない(スケール自動計算)」で読み込んでください。
- (8) **入力時の線種の取り扱い**：読み込み時に FILDER Ceed の線種設定に合わせるか、JW-CAD の線種に合わせるかを選択します。
- (9) **入出力時の線幅情報の取り扱い**：入力時に線幅（ペン番号）情報を取り込むか、取り込まないか、出力時に線幅（ペン番号）情報を出力するか、出力しないかを選択します。
- (10) **入出力時の点の取り扱い**：入力時に点を取り込むか、取り込まないか、出力時に点を出力するか、出力しないかを選択します。
- (11) **入出力時のラスタデータの取り扱い**：図面に貼付いたラスタデータを、図面の中に取り込んで読み込むか、外部ファイルとして読み込むか、図面に同梱して出力するか、外部ファイルとして出力するかを選択します。
- (12) **入出力時の印刷色の取り扱い**：入力時に印刷色を取り込むか、取り込まないか、出力時に印刷色を出力するか、出力しないかを選択します。
- (13) **出力時の線種・色の扱い**：線色、線種を SXF 対応拡張色・線種を保持して出力する場合はチェックを入れます。前ページ「JWW に線色を設定して出力」の③のダイアログを出すかどうかの設定をします。

コマンド名変更／コマンド位置変更・追加

●コマンド名変更●

[一般作図化] → [基本図形化]

[JWW タイプレイヤ制御] → [ボタンタイプレイヤ制御]

●コマンド位置変更●

[基本作図]・[削除]・[補助線削除] → [基本作図]・[補助平行線]・[補助線削除]

[衛生]・[削除]・[補助線削除] → [衛生]・[補助平行線]・[補助線削除]

[空調]・[削除]・[補助線削除] → [空調]・[補助平行線]・[補助線削除]

[ダクト]・[削除]・[補助線削除] → [ダクト]・[補助平行線]・[補助線削除]

[電気]・[削除]・[補助線削除] → [電気]・[補助平行線]・[補助線削除]

[建築躯体]・[削除]・[補助線削除] → [建築躯体]・[補助平行線]・[補助線削除]

[基本作図]・[削除]・[補助線一括削除] → [基本作図]・[補助平行線]・[補助線一括削除]

[基本作図]・[整列]・[パラメトリック] → [基本作図]・[パラメトリック]

[衛生]・[整列]・[パラメトリック] → [衛生]・[パラメトリック]

[空調]・[整列]・[パラメトリック] → [空調]・[パラメトリック]

[ダクト]・[整列]・[パラメトリック] → [ダクト]・[パラメトリック]

[電気]・[整列]・[パラメトリック] → [電気]・[パラメトリック]

[建築躯体]・[整列]・[パラメトリック] → [建築躯体]・[パラメトリック]

●コマンド位置追加●

[ホーム]・[補助平行線]

[ホーム]・[2点間距離]

[ホーム]・[領域拡大]

[ホーム]・[部品情報]

[衛生]・[削除]・[補助線一括削除] → [衛生]・[補助平行線]・[補助線一括削除]

[空調]・[削除]・[補助線一括削除] → [空調]・[補助平行線]・[補助線一括削除]

[ダクト]・[削除]・[補助線一括削除] → [ダクト]・[補助平行線]・[補助線一括削除]

[電気]・[削除]・[補助線一括削除] → [電気]・[補助平行線]・[補助線一括削除]

[建築躯体]・[削除]・[補助線一括削除] → [建築躯体]・[補助平行線]・[補助線一括削除]

[衛生]・[基本図形化]

[空調]・[基本図形化]

[ダクト]・[基本図形化]

[電気]・[基本図形化]

[建築躯体]・[基本図形化]

新規追加になったコマンド

[ホーム] - [領域拡大] - [縮小]
[基本作図] - [領域拡大] - [縮小]
[衛生] - [領域拡大] - [縮小]
[空調] - [領域拡大] - [縮小]
[ダクト] - [領域拡大] - [縮小]
[電気] - [領域拡大] - [縮小]
[ツール] - [領域拡大] - [縮小]
[画像ツール] - [領域拡大] - [縮小]
[傍記] - [領域拡大] - [縮小]
[建築躯体] - [領域拡大] - [縮小]

[ホーム] - [領域拡大] - [前倍率]
[基本作図] - [領域拡大] - [前倍率]
[衛生] - [領域拡大] - [前倍率]
[空調] - [領域拡大] - [前倍率]
[ダクト] - [領域拡大] - [前倍率]
[電気] - [領域拡大] - [前倍率]
[ツール] - [領域拡大] - [前倍率]
[画像ツール] - [領域拡大] - [前倍率]
[傍記] - [領域拡大] - [前倍率]
[建築躯体] - [領域拡大] - [前倍率]

[ホーム] - [リモートサポート]

[基本作図] - [属性のコピー／貼り付け]

[空調] - [機器ライブラリ] - [STEM(ダイキン)ダウンロード]

[電気] - [立下りマーク表示]

[電気] - [開放端点マーク表示]

[電気] - [負荷容量付加・編集]

[電気] - [回路情報付加・編集]

[電気] - [盤図]

[画像ツール] - [青焼き補正]

[建築躯体] - [材質付加]

[建築躯体] - [材質付加] - [材質解除]

[建築躯体] - [包絡処理] - [手動包絡]

[表示] - [非表示レイヤ指定]

[表示] - [表示グループレイヤ反転]

[表示] - [表示レイヤ反転]

[表示] - [全グループレイヤ表示]

[表示] - [全レイヤ表示]

[表示] - [描画表示順制御]

[表示] - [最前面へ移動]

[表示] - [最背面へ移動]

[表示] - [全体表示] - [縮小]

[表示] - [全体表示] - [前倍率]

[DK-BIM 連携] - [室外機情報付加設定・変更]

[DK-BIM 連携] - [冷媒分岐キット集計]

[DK-BIM 連携] - [冷媒選定]

[DK-BIM 連携] - [DK-BIM アカウント作成依頼]

なくなったコマンド

[ツール] - [電気シンボル化] - [設備化]

[見積連動] - [工事項目設定]

[見積連動] - [部材情報解除]

[見積連動] - [明細記号作成]

[見積連動] - [明細記号再配置]

[見積連動] - [明細記号複写]

[見積連動] - [拾い書作成]

[見積連動] - [配線情報追加明細表作成]

[見積連動] - [フロア設定]